京城日報
朝刊
本日朝夕刊共八頁
●本紙定價　一部金六錢　一箇月金一圓廿錢　郵税一箇月金十五錢　外國送り部數共一箇月金四圓
廣告料　五號十五字詰一行金一圓五十錢　指定場所料（一行）金二十錢以上

社説　マレーの戰捷

わがマレー進攻部隊は、連戰連勝破竹の勢ひを以て南下し、クアラ・ランプールに突入した。

わが軍がマレーの一角に上陸してより一ケ月餘、魔のジャングル、鰐の棲む幾多の水流を突破して今や上陸地點から遙か六百キロを南下、マレーの敵軍を完膚なき迄に壓碎しつゝあるのである。

殊にクアラ・ランプール北方の大陸路に於ては、敵は中部マレー防衛軍約一萬、濠洲兵を主力とする第三軍團の一部約一萬五千及び北部よりの敗殘部隊約五千、合計三萬の兵力を集結して開戰以來の頽勢を挽回せんとしてゐたのである。このスリム附近においてわが軍は空陸の緊密なる協同下に敵の陣營を中斷してその退路を遮斷し、瞬時にしてこれを殲滅し不朽の輝く大戰果を獲得したのであつた。このスリム附近の大殲滅戰こそは實に、世界を驚倒さす一大攻略戰であつて、われ等は皇軍の作戰以來の勞苦を偲び、赫々たる武威に復して感謝感激に堪へないのである。而して又、マレー戰線におけるる敵の一大據點たるクアラ・ランプールの攻略は誠に重大なる意義を持つものと言はなければならない。

即ちクアラ・ランプールは地圖の示すが如く、島西部の中央に位し、セランゴール州の首府として行政上の重要地點であると共に、シンガポールへの大幹線道路並に西岸縱貫鐵道のスヱツテンハム港への連絡點として交通の要衝でもある。又、セランゴール州は實に濠洲、印度、ビルマの中繼地點として英全鐵礦輸出の約四割を占むるのである。英は愈よ太平洋上より完全に後退し、東亞における積年の搾取的支配は遂に……

……要なる地點で……の同地攻略によつ……その重要物資に一大打……及るは勿論より、戰略的に見てもシンガポールの運命を決定的ならしむるものといふべく、彼等の狼狽ぶりは想像に難くないのである。

而してシンガポールの失陷は、亞細亞地中海周邊諸邦の防衛體制を根底から覆すものであり、軍事的に致命的打撃を與へると共に、マレー正面玄關としての重要性はいふ迄もない。これと同時に經濟的に與へる打撃も甚大である。マレー半島は……

……關係の運命を決定づけられたのである。

即ちやがては印度洋の制海權をも喪失し、又蘭印の防衛力を失ふと共に、濠洲の防衛は困難となり、彼等の誇號した米英共同作戰は破綻するに至るのである。かくの如くわがマレーの大捷は經濟的に同半島の錫、ゴム等の世界最大の資源地を確得すると共に、敵の牙城シンガポール陷落の防壁を粉碎し、東亞の英軍に對して決定的打撃を與へるものである。更に英の東亞支配の陷落はひいては世界の形勢を一變せしむるに至るべく、マレー戰捷の意義は實に測り知れないものがあるといふべきである。

和蘭軍艦を撃沈

米製“空の要塞”など
敵機計九機を撃墜、破
カカス飛行場も占領

對蘭印作戰

大本營發表（十三日午後六時三十分）一、タラカン方面帝國海軍艦艇は十三日タラカンを脱出せんとするオランダ軍艦プリンス・フアン・オラニエ（一、二九一トン）を撃沈せり、なほ同方面帝國海軍航空部隊は十二日蘭印の双發爆撃機一機、B十七爆撃機一機を撃破せり
二、メナドを占領せる帝國海軍特別陸戰隊は所在の敵を撃破しトンダノに進撃しケマに上陸せる別動のわが特別陸戰隊と合同し今十三日カカス飛行場を占領せり、右作戰に參加せる帝國海軍航空部隊は同方面において敵ロツクヒード・ハドソン重爆撃機四機ほか敵重爆撃機三機を撃墜せり

【東京電話】プリンス・フアン・オラニエ號は敷設艦で排水量一、二九一トン、一九三二年八月竣工、裝備は三インチ高角砲二門、四〇ミリ高角砲二門、一二〇七ミリ高角砲一門を有し、長さ二一六フイート、幅三六フイートで同艦は常にタラカンとバリツクパパンとの間を巡回して警戒の任に當つてゐたが、わが軍の上陸作戰に當つて周章狼狽逃走せんとしたとき撃沈された

撃墜敵機の性能

【東京電話】蘭印メナド方面において帝國海軍航空部隊に撃墜されたロツクヒード・ハドソン重爆機は航續距離二千四百キロ、最大速力四百キロ時、機關銃座五を有し、全重量八トンで英國の代表的最新鋭爆撃機である、またボーイング十七號は航續距離四千八百キロ、最大速力三百六十キロ時、機關銃座四のほかに機關砲二門を有し全重量八トン四〇で米國の代表的爆撃機で空の要塞といはれてゐる

新上陸地ケマ
四季を通じ良港

【東京電話】新上陸地ケマはセレベス島東北方端メナド市の東南約三十キロのところにある、四季を通しての良港で十二月から二月までメナド港が風浪高く船舶の出入困難の期間代用港となる、メナドから直線に自動車道路が通じ、數百戸の漁村に過ぎぬが島かげに隱れて隱密な作戰には恰好の位置にある、過ぐる第一次大戰に南太平洋で活躍したドイツの巡洋艦エムデン號がこの地で食糧を補給して行つたとは有名な話、附近にコプラを産する

ノックス强がる
米海軍、反撃を準備中

【リスボン十二日同盟】ワシントンの米軍相つぐ敗戰を糊塗するため米國政府は大童になつて輿論の指導に努めてゐるが、ノックス海軍長官は十一日ワシントンに參集された米主要都市々長會議において左の如く演説した

米艦隊は準備の完了をまつて反撃に出るであらう、將來米海軍は眞珠灣で受けた損害を越えるやうな敗北を喫するかも知れぬが米國としては全海洋にその艦隊を維持しなければならぬ、米國艦隊は現在も活躍を繼續してをり、その活動状況は作戰上の機密が許されるときにはいづれ發表されることとならう

米國の大敵はナチス黨でありドイツであらう、われわれはまづ第一にこれを擊破しなければならぬ、さうすれば樞軸は破れるのだ、米海軍の目下の仕事は東南方太平洋および大西洋において聯合國に對する重要軍需品を護送することにある、米海軍はこのため廣汎な分散隊形をとり日本艦隊が緒戰において占めた劃的大勝利は今後は斷乎許されないであらう、われわれは現在その目的のために闘つてゐるが、何分米海軍は

タラカン失陷
蘭印政府確認

【ブエノスアイレス十三日同盟】ユーピー通信バタヴイヤ電によれば蘭印政府は十三日午後左の如く發表しタラカン失陷を自認した
一、タラカン防備の蘭印軍は降伏し駐屯軍の一小部分はボルネオ本島に向け撤退した

海鷲星港を晝間爆撃
敵陣地に全彈命中す

【〇〇基地にて村上海軍報道班員十三日同盟】シンガポールに對し前後四回の夜間大爆撃を加へたわが海軍航空部隊は、十三日午後〇〇機よりなる大編隊をもつて大擧シンガポール晝間爆撃を敢行した、シンガポール一帶は連日の惡天候のためわが方の攻撃より免れてゐたが、わが海鷲の精鋭はこの日も積亂雲立ちこめる非常な惡天候を冒して〇〇哩に達する決死の長途飛行を敢行、熾烈な防空砲火をついて雲低いシンガポール要塞上空に突入、全彈を敵陣地に命中せしめ多大の戰果を收めて全機無事歸還せり

日本軍への叛逆行爲は死刑又は嚴罰
比島軍最高指揮官から布告

【マニラ十三日同盟】比島派遣軍は比島人、第三國人の如何を問はず日本軍に對する叛逆行爲、治安攪亂行爲はもちろん軍機保持上、作戰遂行上必要なる軍の命令に反したるものに對しては死刑または嚴罰をもつて臨むことゝなり、その旨十三日軍最高指揮官から布告が發せられた

長大な海岸線を守る必要がある上、新に運河の防衛を行はねばならぬ

オロガンポの治安回復

【比島前線〇〇にて十三日同盟】〇〇部隊の占領によつてオロガンポの治安は次第に回復し、救ひ出された邦人は軍に協力して通譯、食糧配給、宣撫など治安工作に活躍してをり、旅行中マニラで監禁された同地在留邦人百餘名も十二日から復歸しはじめた

大平原に大追撃戰
ネグリスンビラン州へ進攻
星港目ざして驀進中

【マレー戰線〇〇十三日同盟】要衝クアラ・ランプールを拔き敗走する敵を追撃中の〇〇鐵牛部隊はクアラ・ランプール南方丘陵地帶を驀進隨所に敗敵を蹂躪四散せしめつゝ十三日午後五時州境を突破しネグリスンビラン州に進攻した、敵は再び建直る氣力もなくマラッカ方面に向つて敗走をつゞけてゐる

【マレー戰線クアラ・ランプール十三日同盟】中部マレーの敵抵抗線タンジヨンマリムを突破してセランゴール平原に進出したマレー西岸進撃部隊は十一日午後六時半中部マレー最大の要衝クアラ・ランプールの占領となりこゝにマレー南進作戰の決定的な足がかりを得

愈よシンガポール目指し

全面的な進撃態勢に移つた、すなはち皇軍は〇〇、〇〇、〇〇各精鋭部隊によるクアラ・ランプール占領後息つく間もなく南進を續行、ネグリスンビラン州境を目指してその進撃いよく快調となつてゐる、一方ペラー州より西部濕地帶を迂回しつゝ驀走を利して一氣に〇〇に進出、獅子奮迅の緖戰なく殲滅部隊の威力を發揮してセランゴール防備の敵を狼狽の極に追込んだ

快速　〇〇、〇〇の諸部隊はクアラ・ランプールより敗走の敵の退路を脅かしつゝ猛進撃を續け十一日正午クアラ・ランプール西南五十キロのモリムを奇襲しこれを奪取、さらに前進ネグリスンビラン州境の〇〇は目睫の間に迫つてゐる、別に新鋭〇〇部隊は十一……

……滅しつゝジヨホール州に通ずる大平原地帶に大追撃戰を展開してゐる

英船舶を撃沈
わが荒鷲星港周邊猛爆

【上海十三日同盟】シンガポール來電によれば英東亞軍司令部は十二日英軍は日本快速戰車隊の攻撃開始前にクアラ・ランプール南方の〇〇陣地まで撤退した旨確認した、さらに日本軍歩兵部隊は戰車隊と緊密に協力、英軍の退路を遮斷せんとし激烈な戰闘が繰返された、一方日本航空部隊は英軍陣地、運輸施設に猛爆撃を加へ、またナウアル沖合において英船舶を撃沈した、またシンガポール爆撃は引續き行はれてゐると公表した

日本軍に敵し得ず
マレーの英軍戰意を喪失

【上海十三日同盟】當地で聽取したメルボルン放送はしきりにシンガポールの危機を叫へ現在兵力をもつてしてはシンガポールの防衛は到底なし難く、シンガポールを失つた場合には東亞の戰爭を續行することは不可能であると連日絶叫してゐる、他方シンガポールにおいて英軍將校と會談したユーピー記者の報道によれば、彼らは率直に英軍は日本軍に敵し得ざることを自認し、本國から多量の飛行機ならびに增援軍が到着しない限り、シンガポールはおそらく日本軍の攻撃に耐へぬであらうと悲觀してゐる

英國民は五里霧中
星港の危機に茫然
英紙の論調

【リスボン十二日同盟】日本軍の戰線はさらに擴大されたが、當面タラカンおよびセレベス北方メナドなどの占領により西南太平洋の上げ大要次の如く論じてゐる

▲デーリー・テレグラフ＝パウナル英東亞軍司令官がシンガポールの危局につき與へた警告は大いに吟味する必要あり、ウエーヴエル西南太平洋反樞軸聯合軍總司令官の前途には危險が充分滿ちてゐる

▲デーリー・メール＝英國民はマレーの戰線について殆んどその事實を知らされてゐない、戰況報告はすべて曖昧でイギリス民族が五里霧中の状態にある間にシンガポールは奪はれんとしてゐるこの際、何はさて置きウエーヴエルに艦艇および飛行機を送るべきである

陸鷲の猛爆を受けた星港カラン敵飛行場（電送）と上はシンガポール要塞圖

わが神出鬼沒の奇襲作戰

……る、かくてわが神出鬼沒の奇襲作戰は瞬間にセランゴール州を席卷、完全に敵陣殘存敵軍の心膽を寒ひ四通八達の道路上を巧みな機動の妙を發揮し敵大部隊を隨所に捕捉これを火網と鐵輪のうちに殲滅……

米比軍最後の日迫る
戰力日一日低下

【比島前線〇〇十三日同盟】バタアン半島に追詰められた米比軍は皇軍精鋭の猛進撃阻止に最後の足掻きを試みんと各戰線から狩込んだ火砲を總動員して盲射ちに射ちまくつてゐるが、わが進撃部隊はこの重砲火をかくぐつて敵陣地を一つ一つ陷れ敵が最後の據点と恃む〇〇目指し破竹の進撃を續行しつゝあり、包圍環境を縮縮されつゝある敵の戰力は日一日と低下し比島殘存米比軍最後の日は刻々に迫りつつある

日本政府發行のペソ軍票およびフイリッピンペソ貨のみに限り他の外國貨幣は一切之が流通を禁止する旨十三日日本軍司令官布告をもつて發表した、なほ米ドルは當分の間二ペソ一ドルの比率をもつて流通を認めることとなつた

通貨を制限
比島軍司令官布告

【マニラ十三日同盟】比島派遣軍は爾後比島に流通せしむべき通貨……

大阪海軍監督長更迭

【東京電話】海軍では十三日大阪海軍監督長の更迭を左の如く公表した

海軍省公表（十三日午後三時）一月十日附左の通り發令せられたり

補大阪海軍監督長　海軍少將　田村英
なほ前任者海軍少將□□信一は軍令部出仕に補せられたり

在城中の日程
武部滿洲國總務長官けふ入城

滿洲國武部國務院總務長官一行七名は十四日午後一時卅五分京城驛着直ちに朝鮮神宮に參拜それより總督府に南總督、大野政務總監を訪問、當面の問題について懇談を遂げ次で朝鮮軍司令部に板垣軍司令官を訪問、朝鮮ホテルに入る豫定である、なほ一行は朝鮮ホテルに滯在、十六日午後四時四十分京城發列車で離城するが、その間の日程は次の通りである
◇十四日　京城驛着、朝鮮神宮參拜、總督府訪問、軍司令部訪問總務長官招宴、滿洲國領事招宴
◇十五日　李王職伺候署名、總督府各局部首腦部と懇談、鮮銀招宴、總督招宴
◇十六日　朝鮮物産視察、朝鮮美術品觀覽、軍司令官招宴

武部總務長官　さく夕新京發

【新京十三日同盟】武部總務長官は生松總務部次長、樋口企畫處參事官を帶同十三日午後五時十分新京發「のぞみ」で赴城した

米墨共同防衛委員會設置

【リスボン十二日同盟】ロンドン來電によれば米墨兩國政府は昨年三月の共同防衛聲明により必要の場合兩國は相互的防衛方法を講ずる旨確認したが、大東亞戰爭勃發による新情勢にかんがみ米墨共同防衛委員會を設置、共同防衛の具體方法を檢討し兩國政府に提案せしめることになつた

＝人＝
◇曾永檢氏（龍川警察署長）新任挨拶のため十三日本社來訪
◇中村又一氏（前代議士）十三日入城備前屋
◇光永喜七氏（滿洲商議會頭）十四日入城同上
◇江坂源藏氏（昭和飛行機會社專務）十二日入城天眞樓

帝國は斷じて勝つ

一億鐵の團結に向ふ敵なし

高橋軍參謀長放送演説

わが皇軍將兵は皇國の興廢を賭つて東亞南北海陸戰線幾萬キロに亘り勇戰奮鬪、赫々の戰果をあげつゝあり銃後一億もまた總起ちとなり殉國の誠を盡してゐるが、今次大戰の長期戰化に對し半島鐵壁の嚴たる備へをなす朝鮮軍では十三日午後七時半から京城中央放送局のマイクを通じ、高橋參謀長の「大東亞戰爭必勝に關する國內態勢に就て」と題し堂々卅分に亘る烈々たる放送を行ひ聖戰の意義を强調、攻略的、戰略的、戰術的、經濟戰的四部門からの觀察をなし一億銃後も亦大東亞戰爭の戰士として一人の落伍者も許さずと强調、全半島民衆に强い決意を促した、放送要旨左の如し【寫眞＝高橋參謀長】

如何なる障碍も突破

多年に亘る米英の壓迫に對し隱忍自重を重ねて來た我帝國は遂に自存自衞のため蹶然として起ち上り、破邪顯正の刃を執いた、我等一億國民は畏くも去る十二月八日下し賜つた宣戰の大詔を拜し「億兆一心國家の總力を擧げて聖戰の目的を達成するに遺算なからんことを期せよ」と宣ひし有難き大御心を肝に銘し、死力を注いで聖旨に副ひ奉らんことを誓つたのである、殊に今次の戰爭は皇國の興廢を決すべき千古未曾有の大戰で我國としては如何なる障碍をも突破して戰ひ拔かねばならぬのである

然るに開戰劈頭我海軍が「ハワイ」及び馬來東岸にて米英兩國の太平洋艦隊の主力を擊滅し我陸軍が馬來半島及び比島に對し斷然攻勢を採り至難なる上陸作戰に成功するや、皇軍の偉大なる戰果に歡喜し、更に西太平洋及び印度洋一帶にて忽ちにして敵を壓倒し制空權及び制海權を把握し香港、マニラ相次で陷り馬來の大半を席捲するに及んで無敵陸海軍の實力の絕大なるに感激措く所を知らないのである、この機會に大東亞戰爭に於る帝國の現狀並に將來に就て政戰兩略に亘り若干の所見を述べ擧國必勝の確信の强化に資し度いと存じます

破邪顯正の義戰なり

政略上より見て帝國の最も强味とする所は今次大東亞戰爭で敵と異なる米英の壓迫に對し、隱忍自重あらゆる平和的手段を盡した後遂に自存自衞のため已むを得ず開戰するに至つたことである、而もその目的は已に政府から說明があつた如く、歐米に侵略の步を進むるものに非ず、專ら大東亞新秩序を建設し以て東亞永遠の平和を確立するに在り、大義名分に一點の曇りなく正に正義の戰である、これに反し米英は過去における東亞侵略の殘骸を守らんがため、重慶及び南洋諸國を使嗾し彼らに東亞の禍亂を助長し、帝國の平和的通商に凡ゆる妨害を加へ人道上許すべからざる行爲に出たのであり、戰爭に何等の名分がないのである

即ち我にとつては戰は正義の戰であり、破邪顯正の義戰であり、名分の正しきものは必ず勝つ

次に國際關係は大東亞共榮圏の中核である、日滿支の關係は開戰後益々敦厚を加へ、滿支兩國は今次の戰爭により何等の妨げを受くることなく、建設を斷行して際に上海、天津、香港等においては積極的に敵性行爲を擅にしてをりました米英勢力を支那大陸より一掃したことにより茲に劃期的に日支提携による諸建設が促進されることになつたのである又佛印とは軍事協定を結び佛印、泰とは攻守同盟を締結し佛印、泰が大東亞戰爭に友邦として參加するに至つたことは政略上及び戰略上最大の成功であるのみならず大東亞戰爭の意義を益々明白ならしめたものである

政戰兩略上懸念なし

又獨伊兩國は開戰後間もなく對米宣戰を布告し、且帝國と戰爭遂行に關する協定を結び、東西相呼應して米英を攻擊するの態勢の確立を見たのは正に世界史上の一大壯觀であり、我が大東亞新秩序建設の遂行に不拔の信念を加重したものであります、ソ聯邦の向背は彼我共に最も注視する所でありますが、我國はさきに彼と中立條約を締結してをりますので、彼が中立條約を蹂躙する等不信行爲に出でざる限り我が方は飽く迄條約を嚴守するは固よりで、現在に至る迄彼我間に大なる懸念なきは大東亞戰爭開戰の經緯に照し當然のことである

中南米諸國の動向は頗る複雜微妙で米國は平和を欲する弱小國を壓迫して意義なき參戰を强要しその一部にも帝國に對し宣戰を布告したるものがあるが「アルゼンチン」「チリー」「ブラジル」等比較的大なる諸國の態度頗る愼重なるものあるは四圍の情勢上當然のことゝ思はれる以上諸小國の動向に鑑み帝國としては最悪の場合に於ても敢然として征戰を遂行するの決意と準備とを有するもので何等の懸念がないのである、作戰有利なる進展に伴ひ政戰兩關係は互に正比例して益々有利となることは古今の史實に照し首肯せらるゝ所である

共榮圏占據に太鼓判

帝國の地理的關係は米英に對し內線的關係にある、內線作戰により有利に戰爭を遂行せんがためには我が防衞圏を確保すると共に所要方面に對し攻勢を取るための根據を保持し、且內部に必要にして充分なる地域を確保しておかねばならぬ、右の見地に於て大東亞共榮圏を速かに占據すると共に、その周邊の戰略要點を獲得することは戰爭遂行上必須の要件である、共榮圏占據の可能性においては、今や太鼓判を押して間違ひない、既に西太平洋及び南洋一帶に於て既に制海權及び制空權を獲得したる皇軍は南洋方面に對する敵の增援を不能ならしめてゐるので、これが占據は單に時日の問題である

長期戰に對する決意

また一旦占據した場合これが確保ならびに開發は基地を喪失せること、また今や顧慮のない所である、共榮圏の占據はまた重要政權にとつては正に死活するわが陸海空軍の活動により

…を完成し且整備しなければならない、最近米國大統領は巨額の軍事費を計上し既定の增産計畫を實施する外飛行機、戰車及び船舶を急速に增産すると豪語してゐる

米國の工業力を以てせば或は可能かも知らないが然しこれに乘組むべき海兵、海員、飛行士、戰車兵等は如何にして養成するのであらうか、現在第一線に立つて居るものでも實戰時に暴露した樣な無やうな狀態で況や新募の「ヤンキー」にいくら訓練を强要してもその結果はおして知るべきである、殊に內線作戰遂行の爲、海空軍の基地が我が手に收められたる場合何等恐るるに足らない、英國に至つては更に問題にならない、東洋に增派すべき兵力の餘裕はなく英本土、スエズ、印度、濠洲等如何にして保持するやに苦慮して居り從つて米國との聯合作戰も主に此の見地より考へられ、如何にして進攻作戰を行ふべきか…

…係である

殊に兵卒は米英共に傭兵が主體でありその素質劣等なるのみならず君國のために一命を捧げるといふ信念が缺如してゐるのであります、次に訓練の點であるが彼等の訓練は概して形式的のものである、私は嘗て北京、上海、新嘉坡等で米軍、英軍等の演練を時々みたが實に申譯的に練習をやつてをりました、日本軍隊が日曜日もかまはず又毎日のやうに夜間演習を行ひ猛訓練をやつてをるのをみて、彼等も驚歎してゐた

米英側の一大誤算

米國は帝國を經濟的に屈服せしめんとしたのである、我國が聖戰四年半により經濟的に疲弊し對米英戰爭など到底出來ぬと誤算したのである、之は資本主義的經濟のみの觀點より見たる誤算である、今一つの誤算は日本が大東亞共榮圏…

次に統帥指揮運用であるが、我陸海軍は寡を以て衆を破るは一に兵力の運用に在りとし、日夜研鑽之に努めたのである、殊に敵の素質、運用戰法、地形等に應し如何にせば之に殲滅的打擊を與へ得るかに關し徹底的研究を遂げ、編成裝備等にも創意工夫を凝らし以て、戰果を最大限に收むることに努力したのである、之に反し米英軍は指揮運用拙劣にして徹底を缺きその面目を失墜しつゝあるのである

我武力において皇軍が絕對優位を占むるのみならず政略的にも戰略的にも將又經濟戰においても我國が必勝の要素を具備して居るので以上之を要するに大東亞戰爭は彼に確立し得るのである

し長期戰に安臨なき態勢を速か…

の問題で即ち「ビルマ」よりする米英よりの援蔣ルートを遮斷せらるゝとともに政府および要人の財源たる數百萬の南洋華僑の重慶離反を來しまするので、上海、香港の喪失と相俟つて重慶政府の財政、經濟に重大なる影響をおよぼし遂にその存立をも不能ならしむること明かである、若しかゝる狀態に立至るも頑迷なる蔣介石がなほ抗戰を繼續せんとせば私は必ず內部より分裂崩壞を來たすものと確信するのである

さて共榮圏を領有し重慶政權を覆滅した時期は確かに戰爭の一大段階と申すことが出來よう、しかし戰爭はそれで終熄するものでないことは申すまでもない、故に我々は先づ右戰爭第一段階の成功に萬全を期すると共に次で起るべき長期戰に對應する爲今より決意し今より準備する所がなければならぬ、即ち物心兩方面に亘る總力戰態勢…

我將兵の攻擊精神

私は彼我將兵の間にて精神的要素に霄壤の相違のあることを强調するものである、即ち皇軍將兵は勅諭の五ケ條を信條とし如何に困難なる狀況にても悲壯なる戰況においても死を鴻毛より輕しと覺悟し旺盛なる攻擊精神を發揮し一意任務の達成に邁進するのである、米英は戰況一度不利となれば職務を盡したりや否やといふことを檢討し、自分の義務はこれで終つた、之で十分だといふ風に考へ後迄の努力をやらぬのである、權利義務觀念にのみ生きる彼等にとつては或は當然なのかも知れぬが戰鬪で俘虜が極めて多いのは…

十七年度 追加豫算中の新規事業計畫費

食糧增産が依然主流

昭和十七年度追加豫算は本豫算十億一千四百九十四萬圓に追加豫算一億圓見當を加へ略十一億を突破することは既報の如くであるが十三日財務局より發表追加豫算一億圓の大部分を占める新規事業計畫を見るにその主なるものは食糧基地、地下資源の朝鮮としての半島の特徵を捉へこれが開發促進を更に積極化せんとする意圖歷然たるものがあり大東亞戰遂行下における第一年度の半島の進むべき道を如實に反映してゐる、即ちその主流をなすものは依然として食糧增産にあり次に地下資源の開發、及びこれに必然的に關聯を有する電力統制、及び勞務供出機關の擴充等が擧げられる、以下叙上の各事項に亘り本府當局の企圖する所を概說すれば次の如くである

增米計畫を改訂

一千萬石の增收企圖

【食糧增産】

食糧增産に關する新規事業計畫は

一、土地改良助成（計畫擴張）

二、農地開發營團出資

三、食糧畑作物增産

四、肥料供給および重要肥料生産助成

五、水稻多收穫栽培および病害虫防除施設

の五項目が認められ新規事業の主流をなしてゐる、以上によつても明かなる如く大東亞戰の遂行によ…

增産に不可缺の條件である自給肥料並に金肥增産の助成金及び技術的管理により增收を圖らんとする水稻多收穫及び病害虫防除施設費も無事通過せるもので之を以つて大東亞戰下食糧自給の重大使命を擔ふ半島の食糧增産は本格的軌道に乘るに至つたと見るべきである

り參及び佛印米の供給を豫想されるとしても內地及び滿洲、中華民國等の既成東亞共榮圏における食糧自給の見地から見るときは內地における米産が限界に達してゐる今日半島における食糧の增産は茲數年は更に積極的に擴大されて後始めて東亞の食糧自給經濟が確立され得るものであつて本府當局の企圖もまたこの線に沿つて具現されたものである、而して食糧增産の中心をなす新規事業は改訂增米新規計畫であつて今後十年間に一千萬石の增收を計らんとするものでこれに伴ふ一千萬圓の特殊會社たる農地開發營團に對する助成金、及び昭和水利を始め各水組を總動員せしむる土地改良事業の計畫擴張に伴ふ助成費が認められた譯である、なほ畑作轉換による麥作增産の緊急食料對策と食糧…

特殊鑛物 增産助成金と鑛業行政を强化

【地下資源】

明年度新規事業は…鑛業の諸事業に次で半島産業の性格を顯現するものは地下資源の開發である

一、道鑛山關係職員增置

二、地質調査所擴充

三、金、石炭、その他重要鑛物增産施設

の三新規事業が承認されたことは戰時下不急事業を極度に抑制された明年度豫算中特異の色彩を放つものである

一　に於ては從來地方官廳に於て鑛山關係業務は放任され殆んど本府鑛山課に於て直接手をつけてゐたのであるが本府機構改革により鑛政課…の發足をみたのを機會に地方…行政を强化すると同時に…事務の調整を圖り地下資源增産の實を擧げんとするもので資技師五名、技手六名を西鮮、北鮮の各道に配置することゝなつてゐる、これに要する新規豫算は…二千圓である

二　に於てはその主眼と…ものは土質調査に次で半島の…地帶の內部調査を行ふための陣容强化で、從來二班であつた試掘班を一班（技師一名技手二名）を增班、次に半島初の試みである物理調査に充る電氣調査班二班、彈性波調査班一班を（技師三名、技手七名）を新設せんとするもので之に要する豫算は十五萬五千圓となつてゐる

三　は半島の特殊鑛物の增産を目指すもので增産助成金、設備獎勵資金、探鑛的成金を夫々增額し本年度の四百六十四萬圓に比し約三十萬圓增の四百七十萬圓となつてゐる

統制準備費の四萬餘圓承認

【電力事業】

半島生擴の共榮圏的特性を深る電力事業の發展的再編成については新たな統制段階に到達したとの興論の强調により總督府は準備工作中であつたが、豫算化の點において難色があり、伸びなくなつてゐたところ今度十七年度豫算において統制準備費約四萬餘圓が計上承認されることゝなつた、かくて昭和十六年に樹立された第一次半島電氣事業大綱について十七年中には第二次統制大綱が確立されることとなつた、これにより統制調査委員會が官民合同で設立され、本機關において最終的統制大綱が樹立、直ちに電力管理令（假稱）の公布實施と新設されるべき特殊法人令、これに要する政府出資分の豫算化まで手續きが行はれる、新統制要綱が具體的に實行されるのは十八年度となるが、既に逐を續けた第二次半島電力統制が劃期的第一步を步み出したものとして十七年度豫算に統制費の計上は重大評價を受けるとゝもに今後の統制方策が半島産業の性格を決するものとして確定までの推移が各方面から重視されることになる

道社會課長を理事官に昇格

【勞務供出】

勞務供出機關の擴充についても本府當局では職業指導所の擴充强化を圖る意向を有しその所要經費を要求せるも却下されるに至つたがこれをカバーするに府郡島勞務係官を大增員すると共に各道社會課長を道理事官に昇格せしめ勞務諸施策を遺憾なからしめんとするものである、これが所要經費は年額九十萬圓に達するものと見られる

決定の新規事業費は半島統治上不可缺

水田本府財務局長談

【東京特電】十七年度追加豫算に關し水田財務局長は十三日次の如く語つた【寫眞＝水田局長】

追加豫算中第一、第二豫備金の增加、臨時軍事費の繰入決定にはなほ二、三日を要するが、それ以外の新規事業費は殆んど決定した、新規事業の主なるものは、資源の…を突破する數字…より一億餘圓增…賬の反面として…き臨時軍事費…發行の節減等非…

朝鮮特別會計追加豫算內譯

【東京電話】昭和十六年度ならびに十七年度拓務省所管各外地特別會計追加豫算は十二日の閣議で決定を見たがその內譯は左の通りである（朝鮮關係）

▲拓務省所管各特別會計昭和十六年度歲出追加豫算中主要なる事項および金額（單位千圓）

事項	金額
重要代用燃料補助	一、三〇六
重要肥料供給確保助成金	二、五一二
食糧對策施設費	六八
國府防空および警備費	四五三

▲同昭和十七年度歲入歲出追加豫算中主要なる事項および金額（單位千圓）

◇歲入

事項	金額
稅令改正に伴ふ增稅收入、印紙收入を含む	三三、五八五
鐵道運賃引上に伴ふ收入の增加	三二、四八一
通信料金引上に伴ふ收入の增加	六、三七一
公債金	一〇、九一三

◇歲出

事項	金額
石炭增産獎勵補助	二、七六四
土木改良事業費の增	六、九二二
朝鮮農地開發營團出資金	一、〇〇〇
主要肥料供給確保助成金	一一、五一八
陸軍兵志願者訓練所擴充	二、三〇一
東京出張所擴充	二四七
防空關係施設擴充等	一、六六二
徵用扶助ならびに援護費	一八六
戰爭保險臨時措置法施行費	二二
滿洲開拓移民移住ならびに開拓民志願者訓練	四六四
仁川港修築費	四〇〇

下宿人への配給

◇……愛國班を單位とした配給機構の整備を見つゝあることは決戰下誠に喜ばしいことであるがここに一考を煩はしたいのは、獨身者を主とする我々下宿人への配給問題である

◇……從來、町會費納入なきため隣組の配給圏外にあり、我々は未だに炭、地下足袋、靴下、タオルの配給すらない現狀にある、砂糖、酒等の配給は世帶を離へぬ以上致し方ないとしても、生活必需品たるタオル等に至つて…

光成俱優勝

神宮大會氷球の代表選拔戰

神宮大會氷球の代表陣決定

◇一般地域代表

◇中等部

第四日好取組

【京城電話】

新生する星港の前衛

敗殘の姿哀れ・英防衛軍
避難の住民も續々と歸市

【クアラ・ランプール十三日同盟】記者は十一日夜、政府筋のクアラ・ランプールに我軍の入城をした、マレー英軍が手持部隊の主力約三萬の兵力を擁し我決河の南進を阻止せんとはかつたクアラ・ランプールの前進防衛陣地たるトロラク、タンジョンマリム間四十キロの舗路附近は蜂の巣の如くわが銃砲彈に射貫かれた戰闘車、自動車、各種の火砲、トラックなどが何十何百となく道路兩側のゴム林深く殘骸さばかりに散亂し英兵濠洲兵、印度兵などの遺棄死體は蜿蜒として四十キロの間道しるべの如く打ち續いてゐる、戰禍を極めた英軍陣地の跡を見、さらに南下するとクアラ・ランプール北方六十キロのクブロード附近には武装解除せられた捕虜の幾列が戰旗を下げ毛布を肩にかけとぼとぼ歩いてゐる、大部分印度兵であるが中には英人將校も混つてゐる、捕虜監視の兵も一人もつかず武装解除のうへクアラ・ランプール集結を命ぜられた捕虜は完全に戰意を喪失し逃走する元氣もなく命令通りクアラ・ランプールをさして歩いてゐて大英帝國の落日を見るやうだ、クアラ・ランプールの戰鬪はスケールこそ小さいが英軍の悲劇はダンケルクの戰以上に深刻であつた、クアラ・ランプールまで卅キロ行程でとつぷりと日が暮れ燈火を消したわが自動車縱列は闇の間をぬふやうに道路を求めつゝ進み午後十一時ごろ我精鋭の鐵脚下に踏みつけられたクアラ・ランプール市に第一歩を印した、闇の中からわが歩哨の鋭い誰何を受けつゝ市街に入る、十一日午後六時過ぎ市街の完全掃蕩を終へたばかりの將兵は連日の急進撃に疲れて家屋の軒下に眠りこけてゐる、市街の南方に當つて紅蓮の日の出が上つてゐるだけで全市漆黒の闇の中に沈みわが自動車縱列は市街の一角に停止してそのまゝ入城第一夜を明かした、華僑商店街を中心に北部は官廳街、東部は歡樂街、西部郊外一帶に起伏する丘陵は悉く英人によつて占められ王宮の如き大住宅が全市に君臨、南方には工場を中心とする軍事地帯を形成してゐるマレー人、印度人、一部華僑が殘留してゐるのみで約一萬市民の大半は戰禍を避けて郊外に避難してゐたがわが入城とともに十二日朝來續々と復歸しセランゴール州政務關係者も歸り早くも新生クアラ・ランプール再建設の力強い息吹を始めた

寫眞＝新生の息吹するクアラランプール市

突如、雲間から僚機
黒煙上るクアラ・ランプール
爆撃同乘記

【マレー〇〇基地十三日同盟特派員】シンガポールへ、シンガポールへとひた押しに進軍する地上部隊に協力し陸鷲の精鋭部隊は本日敵地上部隊の退路を遮斷すべくクアラ・ランプール南々東百キロの地點にある要衝ゲマスの敵を襲したが、記者は許されて爆撃機に同乘した

この日、基地附近は澄み切つた日和で脚下を過ぎ行く椰子林の中の部落は爆音に驚いてか猫の子一匹も見えない、やがて天候が次第に惡く變つて來たと思ふと小雨が降り出した、彼方に黒雲の柱が二本立つてゐる、熱帶名物のスコールだ、この頃より機はぐんぐん高度を上げ積亂雲の上を縫ひ一路目的地に向ふ、突如前方の雲間からシンガポール攻撃を終へて歸還の途にある僚機に會ふ、お互に翼を振つて戰捷を祝した

クアランの上空より遙かクアラ・ランプールの方を眺めると黒煙が天に冲してゐるのが見えた、やがて雲の切れ間より目的の停車場が見えた、構内には三十輛から四十輛位連結された列車が十五、引込線にはこれまた十輛から二十輛位の列車が二十余り、いづれも軍需品を滿載してゐるらしい、わが爆撃に敵高射砲は猛烈な砲火を浴びせて來る、機は巧みにこれを避け列車に爆彈の雨を降らせて大損害を與へ悠々歸還の途についた

愛國班常會は十日
奉戴日常會出席は主人か主婦

大詔奉戴日から行かうーと奉戴日常會の運營要綱が十二日午後一時半から總力聯盟事務局で開かれた常務理事會でいよ〳〵決定をみた、川岸總長、鳥川總務部長、倉茂朝鮮軍報道部長、中田同主任部長、黒木海軍大佐、松原朝鮮總督、鈴川司政局長、韓相龍氏、甘蔗放送協會長など多數出席、草案はさきに開かれた各局、京畿、京城三聯盟の協議になるものだが、席上決定をみた骨子は毎月八日朝町洞里部落聯盟では『大詔奉戴日常會』を常會に對する放送時刻に合せて（十一月から二月までは七時半）開き、必ず主人か主婦が出席、開催時間は三十分を限度とすることとなつたが詔書は不敬に當る場合もあるので奉讀せず、講演放送中に詔書の御趣旨を徹底させることとし、ラジオのない常會では放送と同一原稿による講演を理事長が行ふこととなつた、また愛國班常會は毎月十日夜從來の時刻により開き、奉戴日常會との間に適宜理事常會、班長常會を行ふ（京城府では理事常會は八日夜、班長常會は九日夜と決定）常會行事の順序は大體從來どほりで滯りなく行はれるが、官廳、學校、會社、工場などの各職場聯盟では奉戴日常會の開催時刻は各自任意に行ひ（當日休日の場合は翌日に繰下げてよし）詔書を奉讀、町洞里部落聯盟常會にも重ねて出席することとなつてゐる、更に常會日の一般事項としては左のごとし

一、必ず國旗を掲揚すること
二、神社、寺院、教會などでは必勝祈願の行事を行ふこと
三、各自一層職域奉公に精勵すること、但し興業方面の業者は一層自肅の徹底を期すること
四、戰線將兵の勞苦を偲び一層勤勞、節約、貯蓄の實を擧げること
五、映畫館に於ては特にニュース映畫、文化映畫などに重きを置き皇國精神の涵養、時局の認識、科學知識の啓發、日常生活の改善などに資すること
六、映畫館に於ては映寫時間中約五分間内外時局關係その他大詔奉戴日に因める場内放送、または講話を行ふこと
七、一層軍事援護への協力、傷病兵及び出征軍人遺家族の慰問を強化すること
八、愛國班員の團結精神を一層強化すること
九、一個廢品回收の實を擧げること

けふ時局大講演會
午後七時府民館
前大本營報道部長　馬淵大佐
朝鮮軍事普及協會長　川岸中將

日本を盟主に大東亞を建設
蒙古駐日代表者ら入城

日、蒙疆聯合自治政府の重臣を帶びて赴任の途にある初代蒙古政府駐日代表特命全權ト彥氏は隨員四名を隨へ十二日午後三時四十分京城驛着列車にて入城、朝鮮ホテルに次の如く語る

現地人として初の駐日代表を命じました事は感激にたへません、自分は大正十三年頃使節として派遣されたよりまず、過去五ヶ年間も戰つてゐる日本の國力の益々……

殊勳・一番乘り
靖國の神と思ひし伜
元氣で再度の御奉公

一世紀に亘る英東亞侵略の根據香港も空、陸、海からするわが猛攻の前には抗すべくもなく遂に去る二十五日わが軍門に降つたが、この激戰を極めた香港島要塞戰に鬼神も哭く壯烈な白兵戰に敵々敵を斬りまくり一時戰死さへ傳へられてゐた京城出身一勇士の武勳物語がこの程實家に寄せられた手紙で更に戰場に御奉公してゐるとか判明した【寫眞＝加藤一男中尉】

この勇士は京城府黄金町二ノ二加藤啓一郎氏長男一男中尉で、我が精鋭が最後の猛攻を浴びせた日敵の對岸うちに戰前不落の要塞を誇つた香港の要塞もどこへやら正面に敵前上陸、一歩手前に喘いでゐた廿五日、この時ビクトリヤピーク要塞及び小香港島要塞のペンネット占領一番乘りをした加藤、松井兩中尉は死物狂ひで敵陣に突入、顔も面體だと拔刀のまゝ潰走する敵を追つて斬りまくり松井中尉は敵將と組討ちし同夜半不幸敵彈を受けて壯烈な戰死を遂げた

この戰友の壯烈な戰死に猛り立つた加藤中尉は血刀を振つて阿修羅の如く戰場を馳驅、不幸敵の一彈は同中尉の右肩に命中、然しこれにもひるまず必死に血達磨となつて奮戰中、同日午後五時ごろ敵將校らしい者が部下數十名とゝもに白旗を掲げて降伏して來る姿がかすかに見えた同中尉は敵の降伏した姿に安心したものかばつたりその場に倒れ伏した、戰ひは決した、牙城香港は陷ちたのだ、戰死したものとみられてゐた同中尉もその後〇〇野戰病院へ後送され、傷も癒えて再び〇〇方面に活躍してゐるが、同中尉は龍山中學校第十二回卒業生で、さきに追初段の猛者で、上海戰にも參加、赫々たる武勳を樹て功六級を賜はつた

父憲一郎氏を自宅に訪へば「私も十年間憲兵として御奉公致しましたが一男やつて呉れました、私も前線に出たことがありますが、戰死したものと思つてゐましたが一男から右腕を……したが大した事も……在〇〇方面に活……と云ふ便りを寄越……いや驚いたり……ことですよ」と伜の奮戰ぶりを語つた

二萬の先生に福音
國民校にも年功加俸制實施

高工夜間部
四月から新設

橫綱羽黒に土
場内の火事に示す觀客の隣組
愛國獻金國技館大相撲 三日目

西35―38東

三日目勝負

私のニキビ取つた話！

高校理科生增募決定

【東京電話】文部省では時局に鑑みて高校理科生の增募を決定今春から實施する、すなはち國公私立高校理科全部にわたり一學級乃至二學級の增設を行ひ高校で甲類十一學級（四百名）乙類廿九學級（千百六十名）計四十學級の增設となり千六百名を增募する

鴨綠江鐵橋の通行….時間強化

夕刊　京城日報

陸鷲、大擧二回に亘り新嘉坡飛行場を猛襲

敵戰鬪機十六を撃墜

大本營發表（十三日午後零時廿分）＝戰爆聯合の帝國陸軍航空部隊は昨十二日大編隊をもつて二回にわたりシンガポール飛行場を攻撃し多大の戰果を收めたり、その狀況左の如し

正午ごろ攻撃せる部隊はジョホール上空において敵バッファロー戰鬪機十五機と遭遇、激烈なる戰鬪を交へ確實に十機を撃墜するとゝもに引つゞきテンガ飛行場を襲撃、飛行場諸施設を爆碎し、かつブレンハイム一機を撃墜したるのちわが方全機無事歸還せり、さらに同日午後二時ごろ攻撃せる有力なる一隊はセレター上空において待避せんとする敵バッファロー戰鬪機十機を發見、直ちにこれに猛烈なる攻撃を加へその五機を確實に撃墜せり

殘存敵空軍を徹底的撃滅

【上海十二日同盟】シンガポール來電によればシンガポール英軍司令部は十二日午後左の如く戰況を發表した

一、セランゴール地區においては日本軍歩兵部隊ならびに航空部隊の猛攻に遭ひ英軍はセレンバン北方地區に後退、目下この方面において交戰中

二、日本航空部隊は大編隊をもつて十二日シンガポールを空襲わが空軍はこれを邀撃猛烈なる空中戰を展開した

三、日本航空部隊は十一日マレー聯邦鐵道の要衝セレンバン驛を爆撃一時交通を遮斷したなほ同日マラッカ海峽沿岸のムアール港も爆撃され小艦艇ならびに市中に損害を受けた

【東京電話】シンガポール方面の敵空軍は今日までにおけるわが軍の航空殲滅戰に恐れ戰きシンガポール周邊地區に潜伏中であつたが、最近敵は蘭印方面から兵力を増加しなほシンガポール防衛のため死力を盡して態勢を整へつゝあつた矢先、わが方はマレー方面航空兵力を擧げて戰爆聯合の大編隊をもつてシンガポール周邊に屏塞中の殘存敵空軍を徹底的に叩くに至つた、すなはち十二日二回にわたつて敵に與へた打撃は蓋し決定的なものであり、シンガポールは今や再び起つ能はざる狀態に沿かれるであらう　今後さらに大編隊を繰出し飛行するであらうから、地上よりする精鋭部隊の強力なる作戰とともにシンガポールの陷落も時間の問題であらう

上海特電【十二日發】シンガポール來電によればイギリス軍當局は十一日次の如く發表した

『日本航空部隊は十日マレー各地のイギリス軍據點を爆撃した、中でもマラッカ州のテボンでは鐵道を爆砕され貨車に損害を受けた、ハンダル、マニラハンも爆撃されたが損害の詳細については未だ報告がない、又シンガポールは十一日朝ジョホール州のヌアル、下東亞軍總司令部の統監下の巡邏隊及び空軍偵察隊による警戒が續けられてゐる、なほ又アル港はマレー半島西海岸の一要港であるが日早朝空襲警報が發せられた』

又も蘭貢を猛爆

【リスボン十二日同盟】ユーピー通信ラングーン來電によれば十二日未明日本軍飛行機はまたもやラングーン北方の飛行場上空に飛來、地上の防空陣地からの猛烈な曳光彈の彈幕を潜りつゝ照明彈の火を頼りに爆彈投下を試み、地上砲火はます／＼激しい射撃を浴びせ暗黒の空に壯絶な激鬪を展開した、一方ロイター通信ラングーン電によると、この朝前後二回にわたり空襲警報が發せられ最初は同市北方に當り爆彈の炸裂する音と猛烈なる高射砲の唸りが聞えたが、間もなく止み二回目の空襲警報は極めて短時間であつたと、しかしてこの一週間に日本軍飛行機はすでに六回にわたりラングーンを空襲したといはれる

ウエーヴエル 正式に就任 聯合國總司令官

【リスボン十二日同盟】ニューデリー（印度）からの情報によれば西南太平洋反樞軸聯合國總司令官アーチボルト・ウエーヴエル將軍は十二日正式に新地位に就任、ビルマ、蘭印、比島方面聯合軍の指揮に當ることになつた、但し總司令部の所在地は發表されてゐない、一方ロンドンよりの情報はマレー半島の敗報に次ぐに新たに蘭印に戰局が發展し英國民はます／＼前途に不安を抱くに至つてゐる

比島戰線

米比軍萬策盡き 輸送船で脱出企圖

皇軍東西呼應し猛追

マニラ特電【十二日發】引續き蜿蜒○○キロに亘る正面のアメリカ正規軍を主力とする敵に對し猛攻を開始、又西海岸方面を進撃中の○○部隊は十日午前十時には要衝オロンガポを占領、同地にあつた邦人數名を救出し、十一日午前四時までに○○の線に進出したこの方面は峻嶮なる山地で潮の干潮を利用して○○方面へと海岸沿ひに敗敵を追撃中である

バタアン半島に遁入せる米比軍に對し猛撃を加へつゝある我軍は山岳地帶による堅固な敵陣地を次々と突破しつゝ退路を斷いて快進撃を續けてゐるが、十一日午後西時には東海岸方面を南下中の○○部隊は○○北方八十キロ○○と○○を結ぶ線に進出、

【比島前線○○十二日同盟】首都マニラを失つた米東亞軍は虎の子のやうに大切にしてゐた正規師團をはじめ機械化兵團などの敗殘兵のすべてをバタアン半島に集中して及ばずながらも必死の抵抗を試みてゐるが、皇軍猛攻の前には到底支へ得るすべもなく、わづかに橋梁の破壞、家屋の燒拂、飛行機によるゲリラ戰などで師團の建直しを試みてゐるものゝ、敵が唯一の頼みとしてゐた重火器も、その堅固な敵陣地もわが奇襲戰法によつて次々に奪はれ、要衝オロンガポを喪つてはもはや建直しの途もなく潰滅の一歩手前に押しつめられた、このうへはマリヴエレスの山地を利用してあくまで抵抗するか、海を渡つてコレヒドール島に逃げこむか、殘された途は二つしかないが、空軍を喪つてかつ食糧難に陷つて戰意全く喪失した敵の運命は、こゝ極れりといふべく、わが飛行機の偵察によれば敵は早くも○○海岸方面に輸送船らしきものの數隻を待機させ逃亡を企圖してゐるもの〻如くである

オロンガポの在留邦人救出

【比島戰線○○にて十二日同盟】十日正午オロンガポ一角に突入した○○部隊は直ちに市内の掃蕩に移り監禁中の在留邦人の救出に成功、引つゞき陣地掃蕩して進撃を續行中である

戰意全く喪失 米軍投降逃亡者阻止に躍起

【比島○○前線十二日同盟】○○部隊に投降した一米人將校の話によるとバタアス半島に死命を制せられた敵兵力は、正規兵をもつて組織する第一師團を中心として敗殘の第卅一師要塞砲兵その他で日毎にその兵力は減少となつてゐるわが軍の猛攻と食糧難のため戰意は極度に低下し投降逃亡など續出する有様で米東亞軍は今や狂氣の如く憲兵をもつてこれが防止と督戰に當つてをり、路上には椰木や電柱に電線で縛りつけられた敵兵の姿が隨所に見受けられる

濠洲機二機を撃墜

【ブエノスアイレス十二日同盟】バタヴイヤ來電＝蘭印軍司令部十二日午後九時卅分發表＝一、十一日蘭印軍はセレベス島北部ミナハサの上空において日本軍飛行機と交戰した

一、十二日午前濠洲軍飛行機二機はメナド附近において日本軍のため撃墜された

蘭印軍と激戰展開

セレベス島ミナハサで

蘭印側發表

【サイゴン十三日同盟】アリップ通信シンガポール電によれば、蘭印側十二日發表次の通り

『セレベス島ミナハサ地區において日本上陸部隊と蘭印軍との間に激戰が續いてゐる、十二日蘭印側は飛行機一機を喪つた』

果敢！中央突破作戰

マラツカ 新嘉坡連絡遮斷へ

上海特電【十二日發】バタヴイヤ來電によればクアラ・ランプールを攻略せる日本軍部隊は一擧にシンガポールを衝くべく十二日朝來マラッカ、シンガポール間のイギリス軍の連絡遮斷に乘り出し、果敢なる中央突破作戰を展開し、敵に最後の猛攻を加へつゝあるが　クアラ・ランプール附近までのマレー西北戰線における敵損害は戰死約三萬といはれてゐる

【リスボン十二日同盟】マレー聯邦の首都クアラ・ランプールを屠つた日本軍は破竹の勢を斷つて南下、一擧シンガポールを雄視す邀もなく○○方面に潰走中である、シンガポール來電によれば日本軍は得意の精鋭戰車部隊を先鋒に機關銃砲火を浴びせつゝ英軍に潰滅的打撃を與へてゐる、他方大部の航空部隊をもつて英軍陣地および主要交通機關を爆撃して戰車部隊およびこれに呼應する歩兵部隊の進出を援護してゐるもの〻如く、英東亞軍司令部も十二日の公表においてすでにネグリセンビラン州に向つて進撃、新防禦線についたと次の通り發表した『セランゴール地區において猛烈な戰鬪繼續中である、英軍は○○北方の陣地に退却し、同地で日本軍と相見えてゐる、英軍退却の後を日本歩兵部隊が突進しつゝあり、日本航空部隊よりの攻撃も不斷に行はれてゐる、○○は十一日空襲をうけた』

【サイゴン十二日同盟】アリップ通信シンガポール電によればセランゴール州における戰鬪は依然繼續されてゐるが、クアラ・ランプールを失つた英軍は今やネグリセンビラン州北方の新陣地に據つて防戰に努めてゐる、なほ日本機は十二日セレムバンに爆撃を加へた

近く倫敦でも聯合國會議

【ベルリン十二日同盟】ワシントンの反樞軸國會議に次で近くロンドンでも同樣の聯合國會議が開催される豫定と傳へられるが、十二日タス通信ロンドン特派員の報道によればこの聯合國會議は主として英國および蘇聯と共通的利害の濃厚な諸國によつて計畫されたもので、同會議は最近モスコーから歸還したシコルスキー亡命ポーランド大統領の司會のもとに行はれ、イーデン英外相が開會劈頭演說を行ふはずであると

防衛の英機皆無

新嘉坡潰滅必然英紙發く

【リスボン十二日同盟】ロンドン來電＝要衝クアラ・ランプールの占領とゝもに日本軍はマレーの大半を制壓、今やシンガポールは重大危機に曝されるに至つたが、ロンドンタイムス紙シンガポール特派員は英軍は飛行機の缺乏により將に潰滅の一歩前にあると左の如く報じてゐる

現在シンガポールの英軍には、飛行機が極めて少く飛行機による同島防衛の命令が出てもシンガポールを守る飛行機は皆無たいふ慘憺たる有様であり、マレー上空は日本軍飛行機の跳梁に委すほかない、もし英軍がシンガポールおよびその他のマレーにおける根據地を失ふならば英國は忽ちにして東亞を喪ふことになる

聯合國軍需生產機關を設立

【ブエノスアイレス十二日同盟】英有力紙デイリー・メール紙ワシントン特派員によれば反樞軸聯合國側は單一軍司令部設置とともに先般米聯合國軍需生產配給機關の新設につき協議を進めてゐたところ、その具體案が成立

ハート大將蘭印到着

【ブエノスアイレス十二日同盟】ニューヨーク電によれば米海軍は反樞軸聯合軍太平洋艦隊司令長官ハート大將が約一週間前に蘭印の某地點に到着してゐる事實を十二日確認した

獨潜艦英驅逐艦一隻を撃沈

【ベルリン十二日同盟】ドイツ軍司令部發表＝十二日正午發表によればドイツ潜水艦は太西洋でイギリス驅逐艦一隻を撃沈し、また地中海方面でもイギリス驅逐艦に魚雷を命中せしめた

[写真]

壯烈！市街戰で殘敵猛撃のわが機銃隊＝【○○島にて】＝海軍省檢閲濟乙第十七號の九九

蘭印、鎧袖一觸せん

半島の御奉公は人的活用にあり

定例局長會議 南總督訓示

十三日の總督府定例局長會議は午前九時半から十一時半まで第二會議室に開かれた、皇軍精鋭の蘭印諸島敵前上陸の輝かしい報道の其日だけに南總督以下出席各局長も元氣一杯、半島の負荷せる東大使命遂行の機運弥來に一段と緊張味を漂はせれば、南總督は開會劈頭左の通り蘭印に對する斷定作戰の必然性とその意義を明かにし、併せて半島國民の大東亞戰參加方法を諄々說くところあつた

南總督

總督訓示要旨

敵性蘭印に對する斷定作戰開始によつて大東亞戰爭の意義が一層明瞭になつた、わが國は蘭印に對し出來るだけ外交手段に訴へて來たのであるが、頑迷なる蘭印當局は米英の傀儡に乘り大東亞戰の當初より數々の敵對行爲を示し我が作戰を妨害した、この間の狀況については十二日のわが政府聲明に十分盡されてゐる、帝國は斷然攻勢に出で忽ちボルネオ、タラカン、セレベスの各島に果敢な敵前上陸を行つて早くも戰果を擴大中であるから蘭印の命數もシンガポールの陷落と同じく將に風前の灯に等しくその運命の決着までには長期を必要としないであらう　この蘭印に對する斷定作戰により大東亞共榮圈確立も一應見通しがついたといふべきだが今後においてわれ／＼は長期建設戰に邁進するものである、この秋に當りわが半島は如何なる部門に於てまた如何なる方法に於て大東亞戰遂行に參加し長期建設戰に協力すべきかについては久しい間考慮研究を重ねて來たところであるが、半島は開戰以來愛國心強くその例は獻金に、多數の飛行機獻納に現れてゐるといへよう、就中わが半島が最も惠まれてゐる條件として人的資源の豐富なることがいへよう該後一億といふときの二割四分に相當する二千四百萬愛國班員を擁してゐるのである、この豐富なる人的資源を最も有效に活用することこそ長期建設戰への最大の協力であり、内地への協力であり内鮮一體の精神顯現の捷徑である、日露戰役當時も釜山から奉天までの鐵道敷設に際し時の愛國同胞一進會員の目覺ましい協力ぶりは今だに語り草として感謝されてゐる、わが半島にも國民徴用令が適用されることになり半島の青少年も直接建設戰に協力出來得ることゝなつた、またこと光榮である、この徴用令は從來の賦役と異つてゐることをよく認識せねばならない、内地の青少年は殆んど徴用令の適用を受けて雄々しく大東亞戰遂行に參加してゐるのだ、半島人青少年は應召の覺悟と光榮を感じて徴用に應ずべきである、中央當局でも來を統一して半島に相談するであらうから、その要求に何時でも應じ得るやう準備を整へられたい、これこそわが半島が誇る人的資源活用の方法であり、大東亞戰爭への協力となるのである、主務各局生局でも準備に遺漏なきを期されたいのである

各局部長報告

引つゞき出席各局部長より左の通り主務事項の報告があつた

鈴川司政局長　邑面の區長優遇案を樹立した、區長は部落聯盟理事長を兼ねてゐるのでこれが社會的地位向上について考慮した結果、物的精神的兩方面からこれが優遇法を講ずるとなつた、更に在滿半島人の最近の狀況について報告

上瀧殖産局長　朝鮮には有煙炭は少ないが無煙炭は多數ある、この無煙炭の活用方法については充分研究を遂げたから將來は無煙炭の進出部門も多くならう

新貝遞信局長　内地ではシンガポール陷落記念切手發行に決定した、即ち二錢切手に對し一錢、四錢切手に對しては二錢それ／＼獻金つきの記念切手を發行するものである、朝鮮でもこれに順應二錢、四錢兩切手を廿萬枚宛計四十萬枚を發行す

諏訪專賣局長　專賣局では近く滿洲國に煙草を移出することゝなつた

信原勅任事務官　慶北慶山コバルト鑛の產出は順調であり、また遂城の小林タングステン鑛山も增産運動の結果從來の三倍產出されてゐる

渡部文書課長　武部滿洲國長官來鮮の日程その他について

倉島情報課長　大東亞戰爭の目的を中外に宣傳するための對外宣傳要領

山田鐵道局長　二月一日から實施される旅客並に貨物運賃値上内容、また驛構において使用してゐる英語、ローマ字、諺文版は年内に整理する

石田厚生局長　近く設立される朝鮮體育振興會は朝鮮の體育運動を一元的に統制するもので、行政面と表裏一體となつて半島體育の振興に協力するものである

山澤農林局長　產業組合などの農業團體を整理中である、このほか内地米穀事情の說明

汁理財課長　（財務局長代理）十七年度豫算の內容について報告

追加豫算約一億圓

總額十一億一千五百萬圓程度

本府豫算決定

大東亞戰完遂を目指す昭和十七年度朝鮮總督府特別會計豫算は大藏省を始め中央關係當局と折衝を重ねて來つたが本豫算十億一千四百九十四萬圓、追加豫算約一億圓を加へ總額十一億を突破する豫算が承認されるに至つたので愈よ今議會に提出、決定の上實施に移すことゝなつた、しかして十七年度豫算は戰爭完遂を目標として總重點主義に基づく編成、査定が採用され戰時物動と照合せた結果、新規事業は相當の抑制を蒙つてゐるが直接戰爭遂行の增產等による增税も織込まれた結果、追加豫算として見るべきものがあげられる、即ちその主なるものを列擧すれば鐵、道港灣の改良、海運の整備等陸海運運輸事業、食糧增產計畫の強化擴充、海陸資源の開發、社會事業、教育の擴充、防空施設制度の改正等が重點をなすものであるなほこれが豫算を十六年度豫算に對比すれば本豫算については一千八百二十二萬圓の增加となり、本豫算と追加豫算との總豫算額は昨年の十億五千四百三十一萬圓に比し十七年度は追加豫算（約一億圓）が計數未確定であるから判然とせぬが凡そ十一億一千五百萬圓程度と見られるので、總豫算額においては昨年より六百萬圓程度の增加に過ぎないことになる譯である、本府財務局十三日正午發表の明年度新規事業の主なるもの次の如し

明年度朝鮮總督府特別會計豫算概要

本府に明年度本府豫算の本豫算は十億一千四百九十四萬圓に達せし旨發表せるところ、十二日閣議において追加豫算の事項決定さる、未だ計數未確定のものあるため追加豫算額は未定なるも、略一億圓見當にして本豫算と合するときは十七年度豫算は十一億圓を超ゆることゝならう、なほ鐵道旅客運賃の引上及び直接税の增徴等あり、明年度新規事項の主なるものを擧ぐれば次の如し

主なる新規事項

咸興、海州、全州神社御列格▲中等教員臨時養成▲國民學校制度採用に伴ふ高等科設置等▲中等學校新設一五校▲各師範學校學力補充講習科新設▲初等教員待遇改善▲金、石炭其他重要鑛物增產施設▲土地改良事業助成（計畫擴張）▲農地開發營團出資▲食糧調作物增產▲肥料供給及重要肥料生產助成▲淡水魚繁殖施設▲鑛務管理制度の採用▲獸疫血清製造所支所新設▲馬政事務強化擴充▲道鑛山關係職員增置▲地質調査所擴充▲水稻多收穫栽培及病害虫防除施設▲陸地棉優良品種普及▲中央試驗所加里原料試驗▲生藥研究所濟州支所設置▲河水統制▲住宅營團第二回出資▲勞力領定實施▲保險業令施行▲國民總力運動擴充▲青年訓練所に專任職員配置▲陸軍志願兵訓練所增設▲勞務供出機關の擴充▲海運國家管理實施▲防空制度改正及施設の強化等▲電力統制準備▲氣象觀測機關の新設及充實▲戰爭保險臨時措置實施▲企業許可制度實施▲南北線連絡送電線▲陸運統制機構充實▲京城漢浦鐵道網新設▲保護觀察所充實▲中央線の全通▲東大門郵便局新設等▲有線放送實施▲私鐵補助の增及自動車事業補助▲鐵道運輸設及改良費增加▲蔚津港獎勵費▲郡守會實施▲在外朝鮮人教育費其他增加▲滿拓公社出資▲道路修築改良工事▲釜山下級勞務者收容地區設定▲釜山隧道工事▲扶餘防水及排水工事▲仁川、吉州、金泉上水道工事▲東草港修築▲羅津沿岸貿易港修築▲仁川月尾島府民場工事▲京城區制施行▲與南府制施行▲京城稅務署增設▲下級職員待遇改善▲工場分及勞働者災害扶助令施行▲高原療養所開設▲木材統制▲金融類特別回收▲地方官廳重要課長昇格▲地方警防機構充實▲地方公共團體の交付金增加▲鑛業統制會社配當補償に關する豫算外契約十八米穀年度に於ても十七米穀生産獎勵金交付等に關する豫算外契約に十六年度追加豫算として重油代用燃油に對する助成金

時の録音

×

みよ。ひと度起てば、セレベス上陸となりタラカンは降伏だ。

×

頑迷の抵抗こそは自らを滅すことかくの通り明々白々。

×

米英に操られる蘭印當局は罪なしとはするが、無辜の住民には罪はない。

×

この帝國の眞意を、南方の被壓迫民族に理解せしめなければならぬ。

×

大海洋民族の態度と寛容、國民はよく心すべきだ。

×

防空壕にあつまる隣同の數、全半島こゝにこぞれ。

蘭印は依然として敵對行爲を改めない。小癪の至りだ。

◎朝鮮住宅營團の『住宅』申込受付開始

一、建設地　京城府道林町、番大方町、上道町

・電車路、バス路より十五分内外の地
・將來有望な住宅街
・大氣清澄、南低北高の理想的保健好適地

二、住宅の規模及構造

型別	建坪	間取（疊數）	構造
甲型	二〇坪	八・六（温突）四、五・三	各型共木造瓦葺
乙型	一五坪	六（温突）四、五・四、五	半家建セメントモルタル塗防火壁
丙型	一〇坪	六・四、五（温突）	水道・電氣付
丁型	八坪	四、五・四、五（温突）	
戊型	六坪	四、五（温突）三	

・間取は通風・採光・保温等に絕對の確信
・各型共に温突一間設けあり循環式文化温突を採用
・燃料は約三分の一にて足る
・敷地は建物の約三倍
・浴槽は希望に依り斡旋

三、申込者の資格要件

（1、世帯主にして家族を有すること（一世帯一戸）
2、本人又は同居すべき家族に於て住宅を所有せざること
3、一定の所得を有すること）

四、家賃並供給方法

型別	一家賃	申込金前納金及敷金
乙型	一月二九圓程度	
丙型	二七圓	〃
丁型	二三圓	〃
戊型	一七圓	〃

・貸貸住宅は契約の際敷金として家賃の二ケ月分を預托

・甲型住宅は分讓乙型住宅以下は賃貸但し官廳會社・各團體等の多數取纏め御申込の向には別に御相談に應じます
・分讓住宅は十九ケ年半年賦の割合を示したもので償還期間の短縮は出來ます
・賃貸住宅は大體一般の借家と同様借家契約の内容になつて居ります
・申込者の數が建設豫定住宅の數より多數のときは抽籤を以て定めます

五、竣功期日・昭和十七年六月頃の豫定

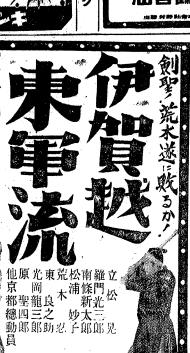
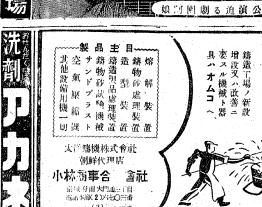
引續き第二期の建設に着手し御期待に副ふやう計畫して居ります之は十月頃までに順次竣功の見込であります

六、豫約建築の特別取扱

當營團に於て建築中の分讓住宅以外に左記の京城府宅地造成地區内に限り御希望に依つては敷地を斡旋の上建築のお需めに應じます

道林町・番大方町・上道町・金湖町・漢南町・新村町及敦岩町

七、申込期間及申込先

・昭和十七年一月十六日より二十日迄五日間
・京城府永登浦出張所内朝鮮住宅營團申込所
・昭和十七年一月二十一日より三十一日迄
・京城府長谷川町四五朝鮮住宅營團
・受付時間は午前九時より午後四時迄
・申込書用紙は申込先に準備してあります（郵送でも致します）
・御問合せの事項は電話本局（二）八三一〇・一八へ

主人は捕れの身
皇軍上陸の蘭印に思ひを馳す 引揚げの岸周子さん

〝私達が營々と築いた蘭印に、よく〳〵皇軍が上陸しました、日本の權益は守られることでせう、こんな嬉しいことはありません……だが主人はいま蘭印軍に捕はれてゐるのが心配です……〟と、蘭印で生れ蘭印で育ち蘭印の決意も固く南國で活躍し昨年九月風雲急な蘭印から主人より一足先きに引揚げた岸周子さんは十三日本紙の皇軍蘭印上陸の號外を片手に京城桜ケ丘で語るのである

私が引揚げる時はまだ私達には戰爭が始るかどうか判らなかつたのですが主人から危くなるかもしれないから兎に角引揚げた方がよからうと云はれ私と

子供 二人に姉が引揚げたのです、主人(岸將勝氏)(五〇)はスマトラのアチェイ州タンジョンスマントで約十五年に亘りゴム園を經營してをり唯一人最後まで踏み留まる覺悟で後に殘つてゐたのですが昨年戰爭勃發の十二月八日のラジオで捕はれたことを知り心配してゐます、主人からは昨年十月に便りがあつたのみでその後音沙汰がありません、私の歸る當時和蘭氏と土民兵の演習がしば〳〵見受けられました、しかし私達にはどう云ふ意味のものか判りませんでした、引揚の時は税關で

身體 検査をはじめ荷物の検査は白粉から梅干を入れてある箱まで検べるといふ顔重振りでした、土民は日本人を尊敬しとても人なつこいです、英米人は土民を人間扱ひにしないから肚の中では恨んでゐます、大東亞の建設といふ大きな日本の目的のために皇軍が上陸しやがて蘭印も日本軍のほんとの姿が判り新世紀の光を受け土民たちに眞の幸福が來ることでせう、それを樂しみに待つてゐます、戰爭がすめばたゞちに蘭印に歸る積りでゐます

【寫眞=經營のゴム林に立つ岸將勝氏と語る妻女周子さん】

中等校十五を新設
教育半島に重點
新豫算十一億圓を截る

基地半島の眞價が認められてゐる十七年度豫算が十六年度より更に殖えて本豫算と追加豫算を合すと十一億圓を突破することになつたが、その中でも高度國防國家建設のため特に教育機關の擴充強化に重點を置き、學務局の新規豫算が戰時下にも拘らず多く認められたことは半島人にとつては一大福音といはねばならぬ新學期から實現する主なる新規事業を豫算面から拾つて見る、先づ現在京城高工内にある理化學教員養成所の定員百五十名をいよ〳〵四月の開校期から六十五名に増員して數學、物理の中等教員を大量に養成することになり、一方不足を告げてゐる地理、博物の教諭を養成するために水原高農内に臨時中等教員養成所を新設して大體新學期には卅五名を

採用 することになつた、その次に國民學校制度實施に伴ひ朝鮮でも八年制を實現する建前から高等科をどしく\増設することが決定した、同時に毎年いくら新設しても不足勝ちの中等學校も今年は特に實業教育に重點を置いて中學校、高等女學校各三校、農業學校六、商業一、職業一、女子商業一の十五校を新設、帝國の穀倉半島に相應しく農業學校が六校新設されることは注目される

初等教育の充實は先づ訓導再教育にありと愈よ新年度から各師範學校内に學力補充講習科が新設される、なほこれと關聯して待遇が悪いために轉職して益々

不足 する國民學校訓導の優遇案が實現、愈よ四月の年度替りから年功加俸が支給される、この豫算は總額約四百萬圓に上る見込みで物質的に惠まれない國民學

校の先生には正に大吉報であらう、その他で目覺しいものは從來學位教員を持たなかつた全鮮二千に餘る青年訓練所のうち、來る新學期から主要都市に百名だけ專任者を置き、青年指導に積極性を持たせることになつた

賭博 京城館洞町一四八ノ二多田組現場詰徐源基(三七)は十一日午前三時半ごろ自宅に松月町一ノ二李應昌(三六)外四名の仲間を誘ひ込み、賭博を開帳中、西大門署員が踏込み現錢五十八圓四十七錢諸共取押へた

電信、電話料も値上

政府では戰時財政の強化に伴ひ遞信事業の調整を期するため郵便料金(基本料金)の値上を行ふことに決定したが、これによつて電信電話料金並に特殊郵便料金の値上げも全面的に行ふことに決定した、これが實施は郵便其本料金の値上げを除くその他は準備終了次第實施することになり、早いものは二月から實施の模様である

小包郵便 【一】内地相互間(イ)普通=現行の五百グラムまで十錢が十五錢となり、一キロまでは現行の十四錢に對し二十錢となる、以上四キロまで一キロを増すごとに十錢増(ロ)書留=五百グラムまで廿五錢、一キロまで三十錢、以上四キロまで一キロを増すごとに十五錢増【二】外地宛(イ)普通=五百グラムまで三十錢、一キロまで四十錢、以上四キロまで一キロを増毎に二十錢増(ロ)書留=五百グラムまで五十錢、一キロまで六十錢、以上四キロまで一キロ増すごとに二十錢増

特殊取扱(括弧内は現行)▲書留料十二錢(十錢)▲速達料【一】郵便局市内=十二錢(八錢)【二】郵便局市外=四キロまで十二錢、八キロ以上十六キロまで五十錢、以上四キロごとに五十錢増▲配達證明料十錢(五錢)▲引受時刻證明料十錢(五錢)▲配達證明料【一】差出の際五錢(四錢)【二】差出後十錢(八錢)▲內容證明料【一】一通の謄本一枚のもの二十錢(十錢)【二】一通の謄本二枚以上のもの最初の一枚二十錢(十錢)ほか一枚につき十錢(四錢)【三】同文のもの從來と變更なし、閲覽料十錢(五錢)▲新聞寄附濟育および徵用郵便特別料金十五錢(五錢)

普通配達【一】內地宛八キロから十六キロまで五十錢、以上四キロ毎に五十錢増【二】臺灣、關東州、南洋群島宛、八キロまで五十錢、以上四キロ毎に五十錢増【三】朝鮮、樺太宛、從來と變更なし

航空料金【一】樺太を除く各地宛および軍事郵便▲第一種=廿グラム毎に四十錢(三十錢)▲第二種=通常往復葉書廿錢(十五錢)時局葉書四十錢(三十錢)▲第三種乃至第五種=五十グラム毎に一圓(六十グラム毎に五十錢)【二】樺太宛、第一種および第二種十二錢(八錢)價格表記料變更なし

電報料金【一】內地相互間=最初の十五字まで(同文は五語まで)四十錢(卅錢)以上五字(歐文は一語)以內毎に七錢增(五錢增)【二】內地外地間=和文は基本料金四十錢が四十五錢に、累加料五錢が七錢に、また歐文は基本料金四十五錢が五十錢に、累加料五錢が七錢にそれ〴〵値上げ

電話料金【一】市內電話料=基本料金は全般に三割強の値上げとなり、一級局(東京、大阪中央電話局)は四十五圓が六十圓に、三級局(京都、名古屋、神戶)の三十五圓が四十五圓に四級局(横濱その他)の三十圓が四十圓に、以下五級局から十二級局まで各一、二割の引上げとなるが、度數料金制の處では、度數料を東京、大阪は二錢を五錢に、その他は四錢とし、度數制でない處は二割強の値上げとなる【二】市外電話料金は近距離間は比較的高率に遠距離間は低率の値上げで、平均三割程度の引上げとなるが、從來四キロまで五錢、四キロ以上十二キロまでは十錢となつてゐたのを改正料金では八キロまでを一律に十錢とし、十二キロまで十五錢(十錢)二十キロまで二十錢(十五錢)以上百八十キロまで二キロを増す毎に五錢づゝ増となり、また百八十キロ以上も八段階に分けて從來に比べて十五錢の値上げとなつた【三】公衆電話料金=技術上の點から今回値上げは行はず、從來通り一通話五錢だが、市外では五錢のところがなくなりキロ數に合せて十錢、十五錢といふ工合になる

百萬圓の華僑中學
本年中に目鼻
目指す教育徹底 語る林總領事

大東亞共榮圏確立に一意献心する汪主席の施政方針に副うて半島十萬の華僑指導に當り着々戰々兢々多忙を極める京城駐在中華民國總領事林耕宇氏は汪主席の意志たる〝教育徹底〟のスローガンを大陸の經濟基地半島にて實現せしめるため華僑中學の設立を志し全鮮十萬の華僑有志者に呼びかけるとはじめての華僑中學校が京城に生れる譯である、百萬圓程度の財團法人組織とし中華人を初め內鮮人共學の

學園 たらしめ大陸や南洋に雄飛する子弟の養成が目的で內容は內地中學校のそれに準ずるといふのが林總領事の理想である

『今準備にとりかゝつた所です本年中には何とか目鼻をつけたいので設立運動に邁進するつもりです……』と冒頭して十三日朝總領事室で語る

シンガポールや南洋にある華僑團體では必ず中學校の一つや二つは持つてゐます、汪主席の理想も來るべき大東亞共榮圏內で育成される中華人子弟の智育伸張に對する烈々たる願望であり私にもはつきりそれを知らしめられてゐるのです、大陸の經

半島 內に華僑團體が中學校の一つも持たないことは寧ろ不思議なくらゐです、在鮮華僑の生活習慣に即した子弟教養の中學校が京城にぜひ一つ必要でそれには私は三つの主目的がある、一は內地の專門、大學校或は豫備校に直ちに入學可能な程度の整備した內容をもつこと、支那における大學、專門校に直ちに入學できるやうにその二、三は卒業生はそのまゝで社會人として打つて出て恥かしくない萬般の教養を身につけることにあります、將來大陸や南洋に雄飛する中華人は勿論內鮮人子弟の方で日支提携で大陸に活動したい希望者にも學園を開放します、以上の主旨ですから一日も早く實現せしむるやう大いに努力を拂ひます

米英撃滅の十一機
咸南道民が赤誠の献納

赤心もつて國土を護り進んでは敵米英を完全に覆滅し大東亞建設に一路邁進せずんば已まぬ——と愛國半島の熱情は沸り目覺しい愛國献金飛行機國防兵器の献納となつてゐるがまづ先陣を承はつて咸鏡南道民が擧つて赤心を披瀝、愛國機十一機の大献納を十二日咸南陸軍兵事部を通し朝鮮軍愛國部へ申し出た、この愛國機の献納者

一、戰鬪機五機(元山號)元山府民一同

一、戰鬪機一機(興南邑民號)國民總力興南聯盟員一同

一、戰鬪機一機(咸南穀物號)咸南穀物配給組合員一同

一、戰鬪機一機(北靑邑號)國民總力北靑聯盟員一同

一、戰鬪機一機(咸南水產號)咸南國民總力水產聯盟員一同

一、戰鬪機一機(咸南官公吏號)咸南官公吏一同

一、戰鬪機一機(朝鮮第二區機船底曳網號)咸南朝鮮第二區機船底曳網漁業水產組合員一同

一、高射砲機関銃一基(海產物號)咸南海產物仲買人組合員一同

各府郡に分會
海軍協會强化
京城でも設立發會式

太平洋を壓してわが艦隊が世界的海戰の大戰果を收めてゐるとき、海國日本の海軍思想をさらに徹底せしむるとともに〝海の護り〟の認識と普及を圖るため海軍協會朝鮮本部では今回さらに各府郡に分會を設けて機構を擴充強化、會員の大々的增募を行ふこととなつたが、京城府でも十七日午後一時から府民館に官廳、銀行、會社、學校、各種團體、婦人團體などの代表者約二千五百名を集めて分會設立の發會式を行ひ、府上層部に會員募集の主旨徹底を圖ることとなつた、なほ當日は黑木海軍大佐の時局講演がある

われも大東亞戰に
……志願兵出身の鄕軍勇士が……
烈々の前線血書志願

これは烈々たる志願兵出身の鄕軍勇士の血書第一線出動志願——志願兵訓練所第四回卒業生の慶北英陽郡英陽邑出身の鈴木裕雄君は昨年春朝鮮第七十四部隊に入營實訓練を受け天晴れ皇軍勇士として錬成され三澤部隊長の薫陶を受けて除隊、その後鄕里にあつて活躍中であるが大東亞戰爭勃發するや赤心報公の血はます〳〵沸り國防第一線に立ち銃を執つて大君の楯とならねばならぬと燃ゆる熱ひこのほど三澤部隊長の許へハンカチに鮮血をもつて日の丸を描き一死奉公の文字をもつて決意のほどを示し私は半島出身青年として光榮ある志願兵として皇軍の一員に加へられ短期間ではあるが軍隊生活を受けました、この磨かれた腕は今こそ發揮しなければなりません、米英の頑迷なる敵を覆滅一死もつて報國の誠をつくしたく一日も早く召集下さいませ

と血涙下に志願の手紙を寄せて來た三澤部隊長は半島青年にしてこの熱と意氣あり、まさに賞揚すべきものであると朝鮮軍に報告し來つたので關係者もこの烈々の愛國心に感激してゐる

鐵條網も何の不死身の鐵血陸戰隊(〇〇島にて)
海軍省檢閱濟の第十七號の一〇一

本社寄託 防空監視隊慰問金 十三日迄

二千圓	朝鮮銀行
二千圓	殖產銀行
一千圓	朝鮮郵船
一千圓	京城新堂町二 咏氏
三六平戶清治氏	
一千圓	京城鍾路二 慈善堂製藥社長清水一
五百圓	桶口キヨさん
累計	一萬七千五百圓

靈草に生きる 巡回映畫の會

龍山警察署では年記念事業の一つとして專賣局では冒頭映畫「靈草に生きる」をこのほど完成、試寫をかね從業員の時局認識をはかるため十一日開城を皮切りに平壤、全州、大邱を巡回することゝなつた

この映畫は大東亞共榮圏の確立に一役を買ふ人參をテーマとした劇映畫だが、人參事業の全貌を折込み宣傳映畫としてすばらしい出來榮をあげてゐる

御難の向學少年を救ふ
花田巡査の情

京城西大門警察の歩道を十一日朝わなく〳〵慄へながら歩しさうに通りかゝる少年があつた、立番中の花田殖光巡査(三)はこの姿を見て不審に思ひ事情を聞くと右少年は慶北安東邑南門町二ノ二二五崔孝益君(三)で京城で勉強する目的から十日朝わずかばかりの旅銀を懷に來城したが、在金をすつかりスリにやられ、鄕里に帰るにも地理が判らず迷つてゐるうち、朝と寒さでつかり衰弱してゐることが判明、早速花田さんは自腹を切つて十圓を少年に與へ、さらに切符まで買つてやり鄕里に歸してやつたことが十二日明かとなり署長以下感激してゐる

龍山理容防諜團初總會

龍山警察署内の理髮業者が打つて一丸となり防諜の陣を布くべく結成された龍山理容防諜團の第一回總會は來る十七日午前十時半から京城古市町々會事務所で開かれることゝなつたが當日は管内全業者及び首腦部から渡邊外事課長、川島龍山署長、友淵同署外事係主任、龍山憲兵分隊から西岡高等主任等が出席防諜する害などは徹底的に講演する首腦部の時局講演を聽取することになつてゐる

今晩のラジオ
八・〇〇 舞台劇「內容不定」
九・〇〇 軍事發表 上田俊次

春場所 四日目取組
【東京電話】
(中入後)

モンテルパン監禁生活

"彼らこそ眞の紳士"
敵將校さへ日本人の態度稱揚

座談會（二）

たゞ默々と勞役

牧内　マニラの邦人がモンテンルパン監獄の收容所に送られたときの状況を……

石田　最初に逮捕された邦人は約五十名、バス四台に乗せられて午後四時ごろモンテンルパンに着いた、私達を監視するガツツといふ軍曹は兵隊仲間でも「鬼の軍曹」と綽名をとつてゐるほど恐ろしいやつでわれわれを罵すと捕虜以上、監視の兵士は機關銃の銃口をわれわれの方に向けて威嚇し、しかもこの兵士達たるやまだ兵士になつたばかりのやつであぶなかしい手附で機銃操作をしてゐる、いつ彈丸が飛び出すか判らない、鬼軍曹は「一歩たりとも無斷でこの部屋から出たものは射殺する」と脅かす、その日は一日私達は食事をとることが出來ず昨日に變るけふの身に少々心細くなり遠く母國のことを考へてゐました

牧内　收容中の動勢は……

上脇　私達はいろいろ勞役に使はれました、炊事とか便所掃除など今までしたことのない仕事には閉口しました、勞役は強制的でなく十人なら十人使役に出て來いといふ命令です、私は雨の降る中で二時間ぶつ通しに塹壕掘りをした、中には雨が降つて來たので手休めてゐると鞭で打たれたものもあつた、みな敵愾をぐつとおさへて默々と勞役に服してゐました

牧内　後になつて同じ收容所に移されてゐたドイツ人が、私達に語つてゐましたが、米人將校は默々として働いてゐる邦人の沈着な態度に關して「日本人こそ本當の紳士だ」といつてゐたさうです

出席者　金ケ江清太郎（ナショナル機械工業社長）▲上脇政巳（マニラ石原産業副社長）▲石田裕吉（三菱商事支配人出張所長）▲満田發生（盛銀マニラ支店長支配人、日本人會長）▲森長英（大同貿易支店長、日本人會副會長）▲高崎熊雄日本總領事館書記生）▲高橋方夫（高橋バザー店々主、青年團長）▲北島眞伯之吉（三井物産支店長）▲賀茂之吉（宝貴メリヤス支配人）▲山本但男（正金支店支配人、日本人商業會議所會頭）

たばこの有難味

金ケ江　私は二日目にやつぱりモンテンルパンに收容されました、入ると直ぐ身體檢査をやられ、所持品を全部取りあげられた

石田　三日目から一番困つたのは煙草がなくなつて來たことです、一本の煙草を皆で廻しながら吸ひました、そして最後の殘りはパイプに詰めて吸ふといふ有樣でしたが、正金の山本さんが外へ出たとき比島人からこつそり煙草を手渡され、これをもつて歸つたときは全く嬉しかつた

山本　收容後一週間といふものはモンテンルパンに責任者がをらず、例の「鬼軍曹」あたりがいい加減な方針をきめて私達を取扱つてゐましたが、十五日にクエリー少佐といふ米人將校が責任者に任命された、その人は非常に物のわかつた男で

「國家は現在戰爭をしてゐるがわれわれ個人的には怨みはない、立場をかへて私がかういふ境遇になつた場合にかうしてもらひたいと思はれることは出來るだけ便宜をはかつてやらう」

といふ話でした、シエリー少佐はあるひは皇軍が近い中にマニラに入つて來ることを豫想してかういふことを言つたのかも知れぬ、ともかく、それから後は待遇が非常によくなり、運動も許されたので私達の氣持は次第に明るくなつて來ました

石田　山本さんのおつしやつたやうに、われわれもかなり自由となり、同じく收容中のドイツ人やイタリー人とフツトボールの試合をするといふ有樣で、士氣大いに揚りました

牧内　キャンプの警備はどうでした

高橋　私達二百八十名は太田興業社宅に收容されたが、四十歳以下の人の中から六名の不寢番と四十名の警備隊を組織して南方の門を警備し出した

皇軍入城の感激

牧内　皇軍入城の感激に就て

金ケ江　一月二日の朝だつた、寢てゐるところへ總領事さんから電話で起され驅けつけてみると新鮮總領事から『日本軍の入城も近い中だから迎へに行かう』といふ話なので、自動車で出掛けたがほのぼのと夜の明け始めたなかを硝煙中の橋にかゝつた際、マニラに向つて日本軍の堂々と行進する姿が見えた、その時には何ともたとへやうのない萬感胸に迫る思ひでした

先遣部隊長にパラニヤケ寺院廣場の前で近でお目にかゝりマニラ市の状況を申上げ用意のお正月用の餅を差上げました

われわれはそこから自動車に日章旗を掲げて入城したのだが、日章旗の入城はこれが最初だつた、沿道の比島人はみな口を揃へて萬歳を叫んだ、この時の感激こそ何物にも替へ難いので皇國の偉大さに思はず涙が出ました（完）

我が軍艦に懸賞金
米國が重慶の二の舞ひ

【ブエノスアイレス十一日同盟】ハワイ海戰により緒戰にかて太平洋上の主力艦隊を壞滅された米軍は、海上ゲリラ戰により日本海軍に一矢を酬いんと躍起となつてゐるが、ワシントン來電によれば十一日のワシントン新聞紙上に米銀行フロリダ・ナショナルバンクは米金軍が帝國艦艇の主要艦艇または輸送船を撃沈した場合は、その乘組員に對し五百ドルの懸賞金を提供する旨廣告を掲載した、敗戰重慶にも比すべきこの米國の醜態は日本軍によつて蒙つた米國の海上權喪失が米國にとり如何に深刻な打擊を與へたかを物語る一證左とも見られよう

双翼に赤い三角
あツ！敵機三機、忽ち火達磨
マレー西岸奇襲上陸

從軍記

【マレー戰線○○十二日同盟】カンパル附近にあつて頑強に抵抗する敵軍の後方退路を遮斷すべくわが精鋭は、さる卅一日未明突如○○を進發、マレー西海岸より大小卅艇を連ね波荒れ狂ふ○○海上を縫り巧みに敵潜水艦ならびに航空機の攻撃を排除し一日午後十時ベルナン河畔のベランメリタンに奇襲、敵前上陸を敢行、彼岸に據つて反抗する敵軍を完全に制壓してベランメリタンを占領しクアラ・ランプール北方戰線の戰局を有利に展開せしめたが、以下はこの決死の舟艇作戰に從軍した記者の從軍記である

去る卅一日○○を出發したわが各部隊は一日午後十時マレー西海岸ベルナン河々畔のベランメリタンに敵前上陸を敢行した、これに先立つて卅一日午後九時には各部隊とも乘艇を完了、記者もほつとリユツクに腰を下して兵隊さんたちと一緒に乾パンに水筒の水で年越の食事をとる

沈むに近い南國の日もすでに沒してほの白くみえる○○の町の杳の花を後に午後十時ひそかにわが舟艇は出發した、いよいよ敵潜水艦や飛行機の出沒する○○の海を渡るのだ、膝をかかへて坐る兵士達の面にも緊張と決死の色が濃い、死んではならぬ必ず生きて還るやうに記者の手を握りしめた○○部隊長の言葉を想ひ浮べつつ記者もぐつと眼を閉ぢた、やがて夜が明けた

なんといふ緊張した元旦であらう、午前八時熾烈な南國の陽がぎらぎらと照り返りマラッカの波を縫つてわが舟艇群はベルナンの河口に近く南下してゐる、ちよつと波が立てばひつくり返るかにみえる舟艇の列は今や躍る血潮を抑へてじつと待機する兵を乘せ、目に眼を瞬かせつゝ堂々の行進をしてゐるのだ、午前十一時乾パンをかじつてゐると彼方西の空に現れた敵機三、みる間にわが船列に近づいて來る、あつ、敵機だ、双翼に赤い三角の標識が見える

すでに兵たちは射撃の準備、高度は二百、敵機編隊が一旋回して攻撃の態勢をとらんとしたときわが彈丸が命中、あつといふ間に一機は火を吹いて海中に墜落、他の二機は損傷を受けて遁方に機影を沒する、このころわが航空部隊からの連絡でシンガポールよりの敵潜水艦の北上を知りわが船列はフルスピードでベルナン河を遡航する

午後八時兩岸は灌木で蔽はれたベルナン一帶が暮色にかすむころ、わが船列はベランメリタンに迫る、すでにわが攻擊を知つた敵軍は橋に火を放つたらしく火の手が望まれる、ほどなく舟艇上の我軍目がけて敵機銃の猛射が始まつた、燃え募る火の手のほの明るい河上に肉薄する敵艦の水面に攻擊する爆音が物凄い、記者は敵機に頭を押込んでじつとしてゐた、はどなく敵前上陸が敢行されて肉彈突擊してゆく兵士の喊聲が聞え喊聲の彼方椰子の木立のうへに繊月に近いまん圓い月が輝いてゐた

宣誓條例公布
重慶の亂脈ぶり

【上海十一日同盟】大東亞戰爭勃發以來、米英の相次ぐ敗戰に重慶政權内においてもまた一般民衆の間においても不安動搖の色濃く、ことに部内の亂脈はその極に達してゐるが、蔣介石はこれが離滑に惱み種原心してゐるが、公務員の宣誓條例を公布し學校教員などに對し、三民主義のみを信奉すること、收賄はなさざること等の宣誓を行はしめた

本社寄託獻金
（十二日扱）

國防獻金　海軍

二百圓　京城府弘濟町一五二ノ一　伊藤正善

五十圓　京城府蓬萊町一ノ二七小西六朝鮮出張所員一同▲八圓六十五錢　京城府本町四ノ一五五龍田順江外一名▲七圓七十錢京城府新堂町三〇四西川倫代▲五圓京城府元町四ノ八三龍隊白汀▲三圓八十六錢京城府三坂通二一四ノ二高橋綱

【累計】金四十八萬八千十一圓八十三錢也

國防獻金　陸軍

五十圓京城府蓬萊町一ノ一二七小西六朝鮮出張所員一同

【日計】金二百二十五圓廿一錢也
【累計】金十二萬二千八百八十九錢也

皇軍慰問金

（陸軍へ）四十二圓八十八錢京畿道楊州稅務署職員一同▲六圓三十錢江原道蹄院谷官公署有志一同

【日計】金五十圓十八錢也
【累計】金十二萬二千八百八十九

總計金六十一萬一千九百一圓七十五錢也

文化

南十字星【2】
挾間文一

（京城帝國大學教授）

田中雅哉州氏筆

今日の航海者は南十字星を六分この航海にも利用することに變りはないが帆船時代の航海者にとつては全く南半球における航海指針であり、十字架なるイエスに對すると同様に深い信仰を擁げたことは他人の財貨は勿論のとその生命すらとることを屁とも思はなかつた海賊船でも、この星に對する信仰と憧憬と情熱を燃えたたせ『サザンクロス』を船名としたもの、又その眞白い帆に大きく赤くこの星の姿を描き出したものが相當に多かつたことでも分るのである。

十六世紀の中葉、南米やメキシコの征服に赴いたスペインやポルトガルの冒險家達が、前人未踏の渺漠たる海上で未知の黑星を冒險に仰ひながら仰いで魂を奪はれ、寂寥と郷愁を感じたことは容易に想像されるが、その折しも南半球の空高く、イエスの尊い姿を並白の十字形の中に認め、神の加護が祈られ、逆に勇猛心を奮ひ起したといふロマンスが今もなほ語り傳へられてゐる。詩聖ダンテが煉獄の初めに書いてある『四つ星』は、南十字星であると想像され、又伊太利のアメリゴ・ヴスプツチもアメリカ大陸への第一航海に南十字を見て『ダンテの四つ星を認めたり』と書いてゐる。然しこの四つ星を初めて南十字の名で呼んだのは最初の世界一周で有名な海將マゼランの部下ピガフエツタである。以後久しく南米の新大陸を『神聖十字架の國』と呼ばれ、これが初めて天球儀に描かれたのは一五九二年だといふ。爾來南十字星は南極を表徴するシンボルとなつてきた。即ち一九一二年、米國のバード少將が第一回南極探檢に赴いた時、その飛船にサザンクロス號の名を與へ、今より卅一年前、わが開南丸がこれ又南極探檢の大壯舉に上る時、その艦頭に飾した船旗はこの星の形を印したといふことである。又數年前初めて南太平洋を飛行機をもつて横斷したシドニー・スミス大尉の乘機も亦サザンクロスと命名されたと記憶してゐる。

星辰が太陽や月と同様に航海術の對象となる様になつてから、南十字星に對する情熱と憧憬と信仰とは稍薄らいで來て、この星がもつ魅力がだんだんと少くなつたとはいへ、獨逸の地理學者フンボルトが記してゐる様に、南天の大時計として、南十字星は南半球では吾等の北斗七星と同じ役を勤め、五月上旬午後九時の南中時には殆ど直立し、そして毎日約四分づつその赤經を進めて、刻々天球における位置を變へ、種々様々な形態を示すことに依つて時刻を知らしめることは、北天における北斗七星と變りはない。

南十字星は台南では約四度海南島では約十度の高さに望める。事者も台南で地平線と隱れ隱れに望み得た。五十年も昔は北海道邊りでも望まれた。又イエスが十字架にかかつた當時もエルサレムの地平線に低く輝いてゐた箸だが、その頃は十字架の名は與へられてゐなかつた。

京日歌壇
吉井勇選

いささかの向上もなく進歩もなき我があけくれは園の如きもの　京城　田中加留子

足を踏まれ背を押されつつ電車にて今更京城の人口を思ふ　成北　南基先

三度の日をしのぎつつ稲うちぬ初供出の期日近づく　同

雪ふりてしづけき村の夕ぐれをふと高まりし發動機の音　京城　安見和彦

熱きものを覺えぬ身も魂もこの一聲にひきしまり勧なかりけり今朝のニユースは　役橋　谷川文子

降る雪は時の間白し壁なる小屋もあはれに人見るらむか　同

照りもせず曇りもはてぬ山小屋に雪の踊見て今日も過せり　平壤　小松良一郎

宣戰の大詔聞きにつつ念ひ極まりて涙ながるゝ　德川　秦森八重

今日の日は既に斃猶し來たれどもニユースを聽けば夢の如しも　同

病兵となりし兵吐り困る隊長の銀髮に落出せし傷兵となりし念恥づと弟のたよりきたりぬ雪の夕を

科學熱と共に殖える參觀者
倭城臺科學館

京城倭城臺恩賜記念科學館の參觀者は年々增加の一途を辿り昨年四月から十二月までの入場者は十二萬二千餘人に達し、多い月は三萬人、これを日割にすれば一日一千餘人からの人々に科學知識を吹き込んでゐることになる

この入場者の大半は小國民及び中等男女生徒で、學校側の團體參觀が著しく多くなつて來たことを物語つてゐる

家庭メモ

電燈を消す時

電球を長持ちさせるには振動を與へぬことが大切です、ですから消す場合、理想的なのは壁スヰツチによることですが、電球をひねりませう、電球をひねると口金との間にゆるみが出がちです振動が激しいばかりでなく球と口金との間にゆるみが出がちです

寒い時の買物

買物にも中々時間の要る此頃ですが、一寸疲れてゐると思はれる時や睡眠不足の時は決して買物行列に入らぬやうにしませう、流感季節に戸外に動かずに立つてゐては寒さは身にしみ、すぐ風邪を引きます

不連續線

茶道

茶道の要諦は『和敬清寂』の四字に盡きるといはれてゐる。わかり易くいへば、『和』は調和を以て世間に對すること『敬』は禮讓を以て人と交はること『靜』は質朴を以て身を修めること『寂』は物に不定なきを知ることだと説かれる。

これを今日流に飜譯すれば『和』は闘取引などをせず、公德心を發揮して秩序を守ること『敬』は禮讓を發して生活に即すること『靜』は簡素生活に徹すること『寂』は物資不足にも不滿を訴へぬ心構へであるとも解されよう。

然らば、戰時に茶道などとは以ての外であるといふ人たちも、まだ、一應は納得して然るべきか。

文化だより

【寫眞＝中カナリヤ】

◇愛國短歌研究會　一月十八日午後一時から府民館日本間で開催古代より現代に至る愛國短歌中各自の最も愛誦するもの二首を選出し會場において朗詠すること（内一首は自作にても宜し）また大東亞戰爭の大詔を拜して歌へる國民的感激の詠草一首持參會費一圓（茶菓代）來る十六日までに寶圓樂器店にて京城府錦町一二朝鮮歌人協會あて出詠、作品用紙、題は詠草、住所氏名を適告のこと

次週番組

大陸劇場　（十七日から廿一日まで）▲松竹大船作品、高峰三枝子、上原謙、水戸光子主演『隣の國』▲英ゴーモン作品、ヴイクトール・フランサン主演『火の十七日から一週間その第一回出、第一

浪花館　（十七日から廿一日まで）▲新興京都作品、東條新太郎、市川右太衛門主演『仇討の日』▲佛A・C・F作品ジヤツク・ド・バロンセリ監督、ジヤン・ピエール・オーモン、シヤルル・ヴアネル主演『忘却の沙漠へ』

京城寶塚劇場　（十七日から廿三日まで）▲日活京都作品丸根賛太郎脚本監督、嵐寛壽郎、澤村國太郎、宮城千賀子主演『決戰奇兵隊』▲城寶樂劇隊第一回公演『世紀の船出』全八景

喜樂館　（十八日から廿三日まで）▲日活京都作品、阪東妻三郎、市川春代、原健作主演『風雲將棋谷』前進座大會

城寶樂劇隊　初のお目見得

京城寶塚劇場直屬の城寶樂劇隊を誕生せしめたが來る十七日から一週間その第一回公演を披露する

出し物は江口徹作構成になる『世紀の船出』八景十四齣で陣容中には中カナリヤ、李銀花等も加はつて居り、演奏は林正博とその樂團が擔當してゐる

なほこの週の映畫は日活京都の新作、丸根賛太郎演出、嵐寛壽郎の颯爽篇『決戰奇兵隊』が封切られる

三國志【702】
（赤壁の巻）
吉川英治（作）
矢野橋村（畫）

鐵鎖の陣（三）

周瑜は陣後の山へ驅けのぼつて行つた。望戰台から手をかざして見る。江上の接戰はもう飛沫の中に開かれてゐる。

快速の舟艇ばかり三、四十が入り亂れて矢を射交してゐる樣子。

魏の焦觸、張南のふたりは、遮二無二岸へ向つて突進をこゝろみ、『第一に陸地を踏んだ者には曹丞相に申しあげて、軍功帳の筆頭に推すぞ。怯むな面々』と、聲をからして部下を勵ました。

呉の大將韓當は、それを防ぎ防ぎ自身、長槍を持つて、一艇の舳に立ち現はれ、『御座んなれ。みな好餌だ』と、横ざまに艇をぶつつけて行つた。

焦觸は、何をとばかり矛をふるつて、兩々讓らず十數合ほど戰つたが、風浪が激しいため、舟と舟は揉みに揉みあひ、勝負はいつ果てるとも見えない。

ところへ、呉の周泰がまた、船を滑らせて、『韓當々々。いつまでそんな雜魚に手間どるのだ』

と、勵ましながら、手の一槍をぶうんと投げた。風に乘つて、ぶうんと投げ槍に串刺しにされて、水中へ落ちた。敵の焦觸は、投げ槍に串刺しにされて、水中へ落ちた。彼の副將張南は、それと見るや、

『おのれつ』と、弩を張つて、周泰の船へ近づきながら、雨あられと矢を向けて來た。

周泰は舷の蔭にひたと身を伏せたまゝ、矢面をくゞつて敵艇へ寄せて行つたが、どんと、船腹と船腹のあひだに飛沫ひよく水煙の揚つたせつなに、おうと一吼して、相手の船中へ躍りこみ、張南をただ一刀に斬りすてたのみか、その艇を分捕つてしまつた。

かくて水上の序戰は、魏の完敗に終り自將ふたりまで打たれてしまつたので、魏の船はみだれみだれて風波の中を逃げちらかつた。

『――おう、おうつ、味方の大捷だ。江上戰は有利に展開したぞ』望戰台の丘に立つてこれを見てゐた周瑜の喜色はたいへんなものである。――が、戰況の變は忽ち一喜一憂だ。やがて彼のその顏も暗憺として、毛孔もそゝけ立つばかり不安な色を呈して來た。――といふのは、敗報をうけた曹操が小癪なる呉の舟艇、一氣に江底の藻屑にせん、と怒り立つて、その夥しい艦艇、大船の艨艟をまつ黑に押し展き、天も晦うし、水の面もかくれんばかり、呉岸へ向つて動き出して來る樣子なのである。

『あゝ、さすがは魏、偉なるかな、その大船陣。われ水軍を督すること十年なれど、まだこんな威容を水上に見たことはない。いかにしてこれを敗るべきか』

眼に見たゞけで、周瑜はすでに氣をのまれたかたちだつた。懊惱戰慄、施すべき術も知らなかつた。

すると突然、江上の波は怒り、狂風吹き撓いて、こゝかしこ數丈の水煙が立つた。そして曹操の乘つてゐる旗艦の『帥』字の旗竿が折れた。

『――あれよ』と、立騷ぐ江上の混亂ぶりが眼に見えるやうだつた。誰しも忌む大不吉に違ひない。間もなく雷鼓の響きは、ことごとく帆をめぐらし、舵を曲げて烏林の灣口ふかく引つ返してしまつた。

『天の佑けだ。天冥の加護わが軍にあり』

と、周瑜は手をたゝいて狂喜した。然るに、江水を吹捲いた旋風は、忽ち一天をかき曇らせ、瞬く間一帶からこの山へも、大粒の雨を先驅として、もの凄く暴れまはつて來た。

『――呀ツ』

と、周瑜が絶叫したので、まはりにゐた諸大將が仰天して馳けよつてみると、周瑜のかたはらに立てゝあつた大きな司令旗の旗竿が、狂風のため二つに折れて、彼の體はその下に壓しつぶされてゐたのだつた。

『おゝつ、血を吐かれた』

諸人は驚いて、彼の體をかゝへ上げ、山の下へ運んで行つたが、周瑜は氣を失つてしまつたものらしく、途中も聲すら出さなかつた。

矢野橋村畫